

バイク用・録画機能付き 6.1インチ スマートモトミラー

M2-PRO / M2-01 / M2-02共通

【取扱説明書】

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

お知らせ

本書で使用している画像は開発中のイメージ画像の為、
実際の製品とは異なる場合があります。

記載内容に不備がある場合は、
新しい取扱説明書を公開している場合がございます。

取扱説明書の最新バージョンは、
以下のURLからご確認いただけます。

<https://maxwin.jp/download/114314/>



※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

目次

■安全上のご注意	1	■本体設定	49
■取付上のご注意	3	■よくあるご質問	53
■使用上のご注意	4	■製品仕様	54
■microSDカードについて	6	■ファームウェアについて	55
■microSDカードについてのご注意	7	■商品保証書	56
■本製品の防水性能について	7		
■無線LANに関する注意	8		
■お手入れについて	9		
■梱包内容の確認	10		
■各部名称	11		
■各部の接続	14		
■取り付けの前に	15		
■取り付け方法	17		
■電源のON/OFF	27		
■microSDカードを装着する	28		
■microSDカードをフォーマットする	29		
■ホーム画面	30		
■ドライブレコーダー機能を使う	31		
■Smart Link機能を使う	36		
■TPMS機能を使う	44		
■安全運転支援機能を使う	46		
■コントロールスイッチを使う	48		

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- **本機は12Vバッテリー搭載車専用です。**
6V車やバッテリーレス車等へは、取り付けしないでください。
火災や故障の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **表示しないなどの故障状態で使用しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**
- **機器内部に水や異物を入れないでください。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。**
落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。**
- **microSDカード挿入口に異物を入れないでください。**
火災や感電の原因となります。
- **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。

安全上のご注意

注意

- **本機は、運転時の状況を記録することが目的です。**
その他の目的では、使用しないでください。
- **本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。**
火災、故障のおそれがあります。
- **夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。**
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- **microSDカード挿入口に手や指を入れしないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。**
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。
- **煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。**
発煙、発火、感電、故障につながります。
- **バイク等の運転中に本機の操作はしない下さい。**
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- **極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。**
- **本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。**
- **microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。**
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- **microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。**
- **microSDカードの抜き差しは必ず電源OFFになっていることを確認して行ってください。**
本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- **microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。**
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- **本機を強くたたき、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。**
故障や破損の原因となります。
- **本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。**
- **本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。**
変形や変質、破損の原因となります。
- **磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。**
キズの原因となります。

安全上のご注意

- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルの芯線の露出、断線などがあつた場合は、販売店にご相談下さい。
そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因になります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルを改造したりしないで下さい。
火災、感電の原因になります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルは必ず付属のものをご使用ください。
また他の製品に使用しないで下さい。
火災、感電の原因になります。

取付上のご注意

- 取付作業は環境の整つた、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人の責任において行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録(上書き)します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 車両のバッテリー劣化などにより、入力電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転者は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- スマートフォンアプリはスマートフォンの機種やAndroid、iOSなどのバージョンにより対応しないものがあります。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などで本機の電源ケーブルが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

microSDカードについて

- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて
本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」をmicroSDカードと総称して表示しています。
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。
 - ・microSDHCカード: 容量:32GB、スピードクラス:U3以上
 - ・microSDXCカード: 容量:64~256GB、スピードクラス:U3以上※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。
※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等を行っておりません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

microSDカードについてのご注意

- microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。
microSDカードラベルなどを貼らないでください。
SDカードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。
- 国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。

当社推奨microSDカード

容量:128GB
品番:SD-A128G



■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.もし事故に遭われた場合は、録画ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.安全な場所に停車し、本機の電源がOFFであることを確認してから、microSDカードを抜いて大切に保管してください。

本製品の防水性能について

- 本製品の本体、カメラ、コントロール、タイヤ空気圧センサー、レーダーユニットは全て防水規格IP67相当の仕様となっています。
※防水性能は当社試験方法によるものです。
※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 本製品をご使用の際は、湿気や高温(50℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

無線LANに関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するとき無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品には技術基準適合番号が刻印されています。この番号を消した状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

お手入れについて

■モニター本体

モニター表面が汚れていると映像が見えにくくなる場合があります。
あらかじめ乾いた柔らかい布などで汚れをそっと拭き取ってください。

■フロント/リアカメラ

カメラのレンズが汚れていると鮮明な画像が得られません。
水滴やホコリなどが付着した時は水で湿らせた柔らかい布でレンズを清潔にしてください。

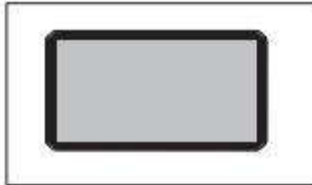
梱包内容の確認

本機には以下の付属品があります。

お使いになる前に以下のものがすべて入っているか確認してください。

万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、

お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。



本体



フロントカメラ



リアカメラ



タイヤ空気圧センサー
※M2-PRO、M2-01付属



レーダーユニット
※M2-PRO付属



取付ブラケット
(Φ25.4mm対応)



スペーサー
(4サイズ)



ハンドルミラー用マウント
(Φ8mm、Φ10mm対応)



コントロールスイッチ



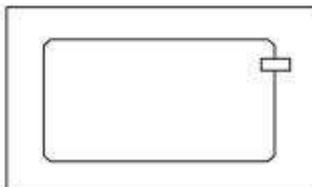
コントロールスイッチ
取付用L字金具



電源ケーブル



工具セット



液晶保護
ガラスフィルム



結束バンド



予備ネジ
(SDカードカバー用)

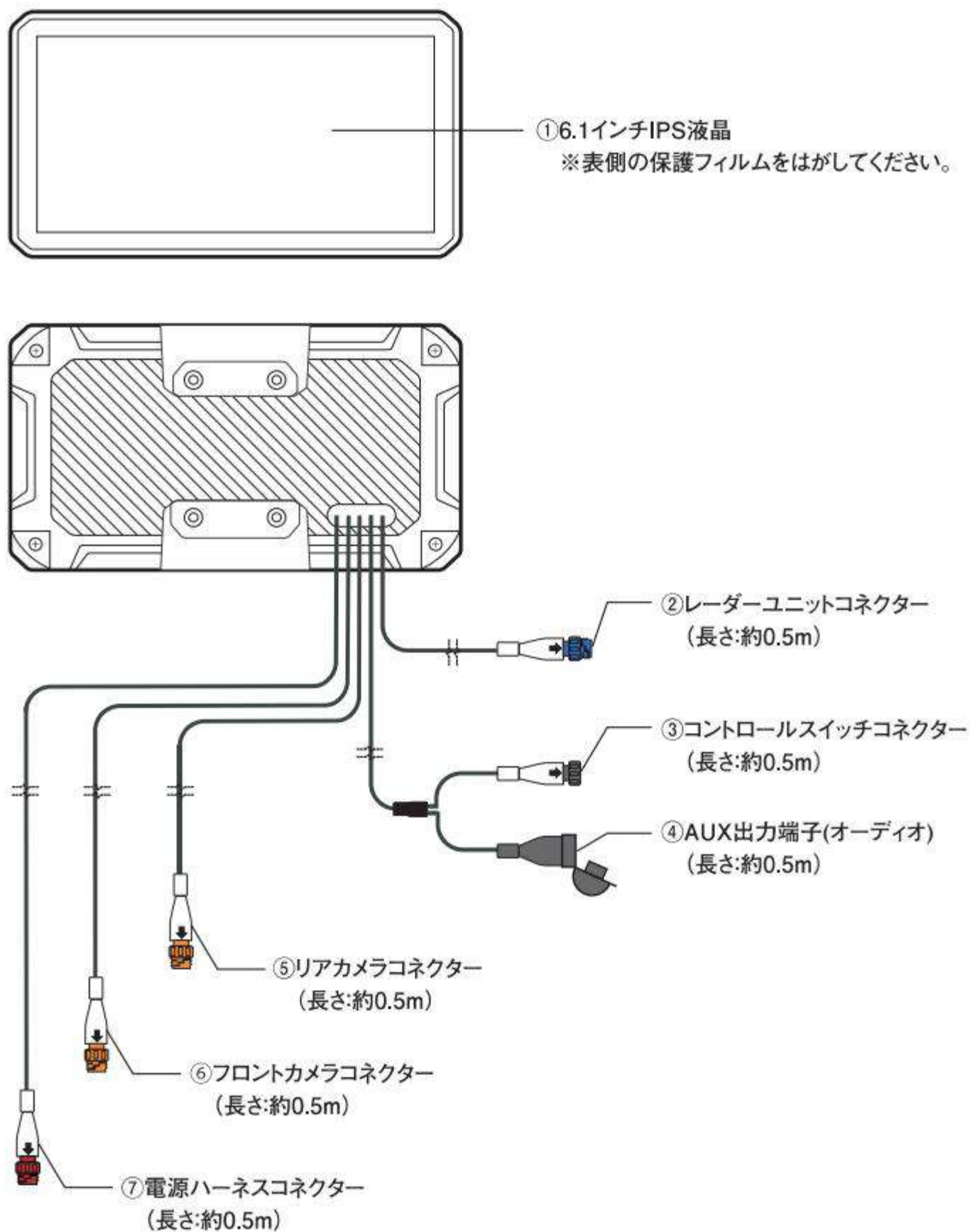


取扱説明書
(本書)

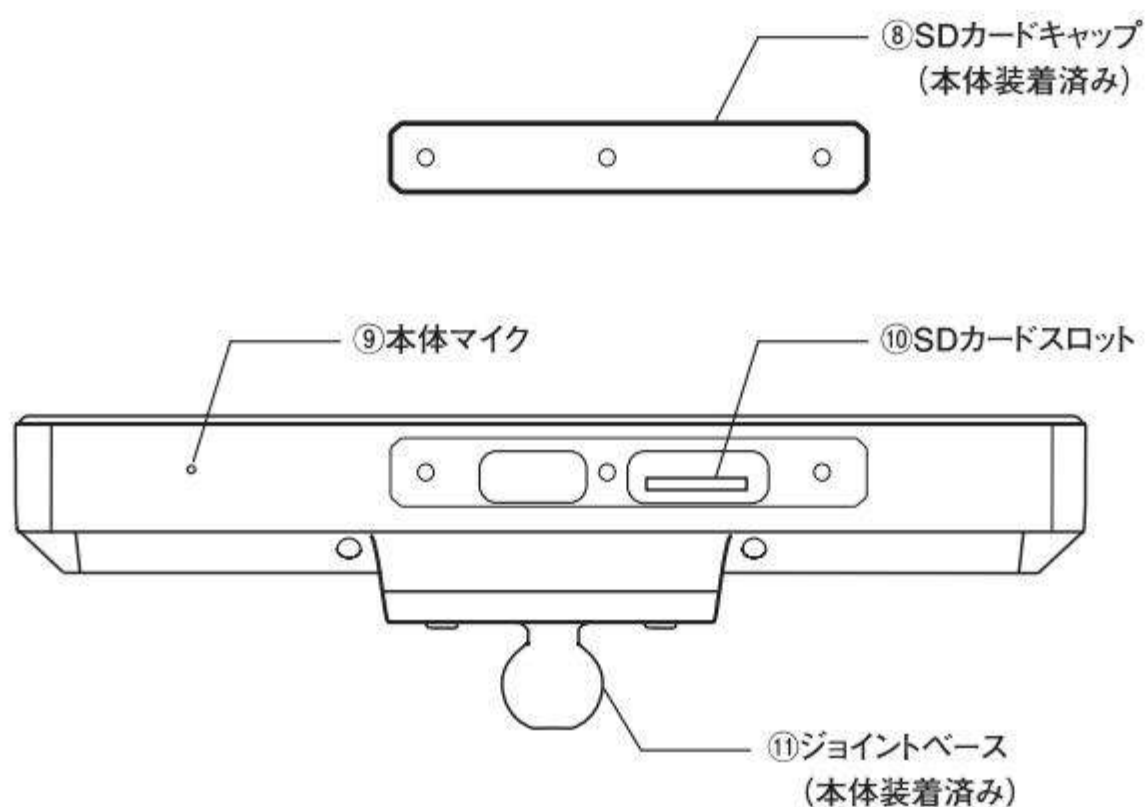
各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。

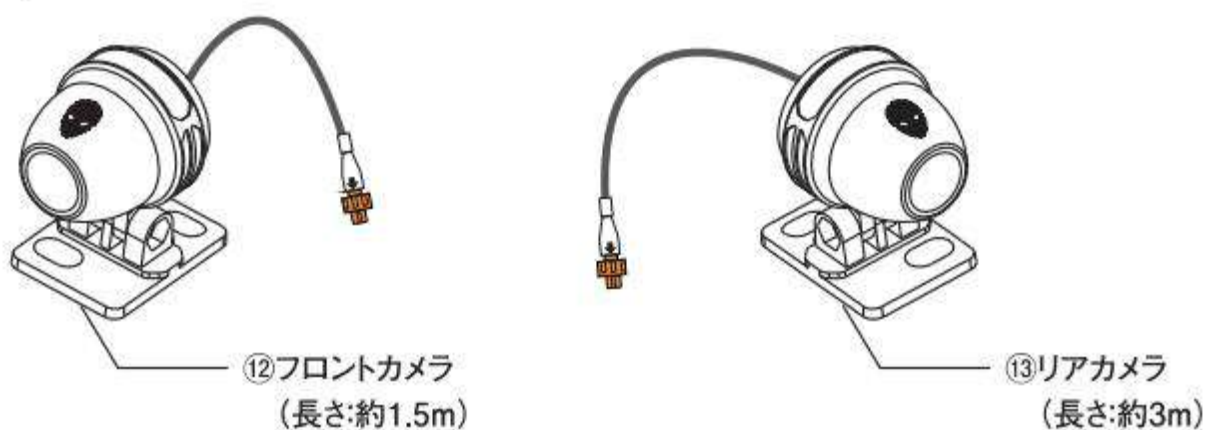
■本体



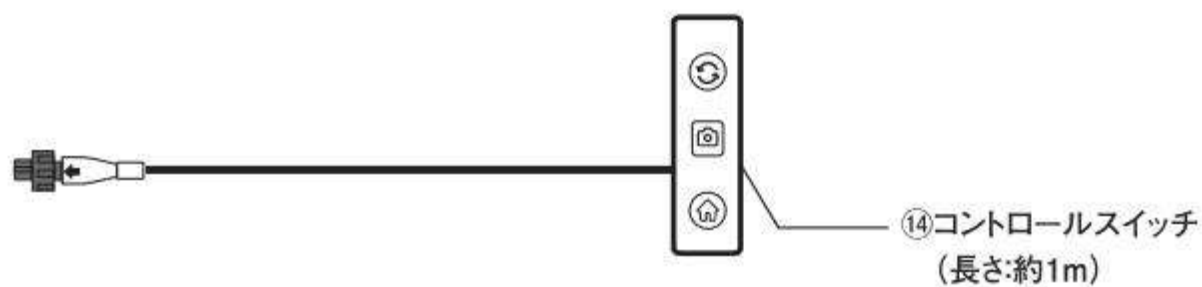
各部名称



■カメラ

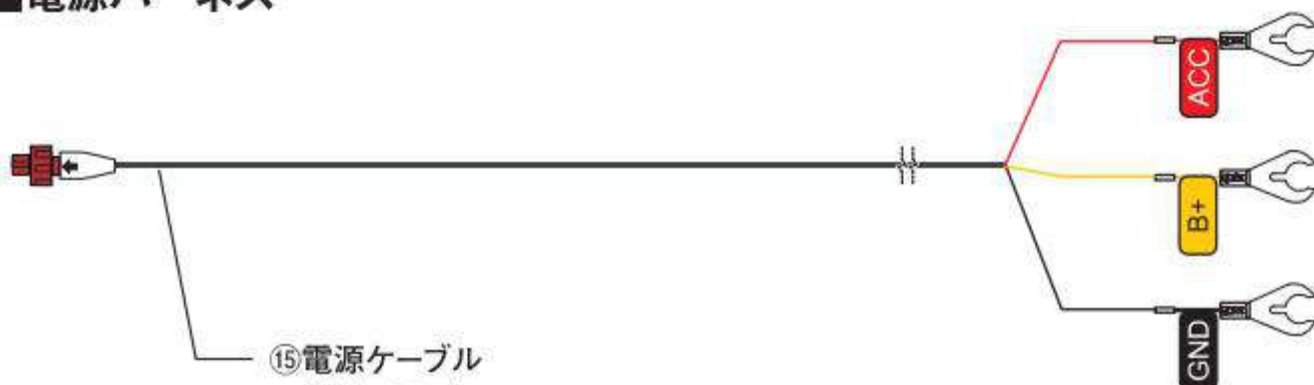


■コントロールスイッチ



各部名称

■電源ハーネス



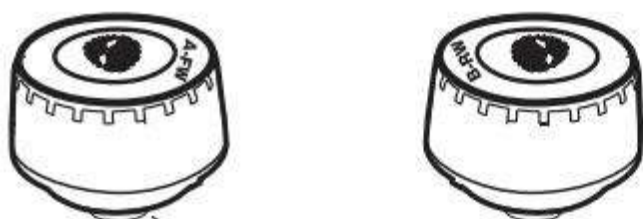
※電源コード(赤):ACC ONで12V、ACC OFFで0Vの車両配線へ接続

※電源コード(黄):バッテリーのプラス端子へ接続

(設定を保持するために接続が必要です。)

※電源コード(黒):バッテリーのマイナス端子またはボディアースへ接続

■タイヤ空気圧センサー

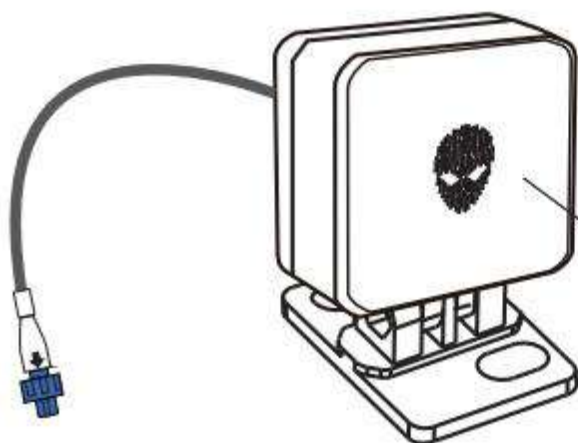


⑯タイヤ空気圧センサー (前輪:A-FW、後輪:B-RW)

※M2-PRO、M2-01:商品に同梱されています。

※M2-02:別売オプション

■レーダーユニット



⑰レーダーユニット

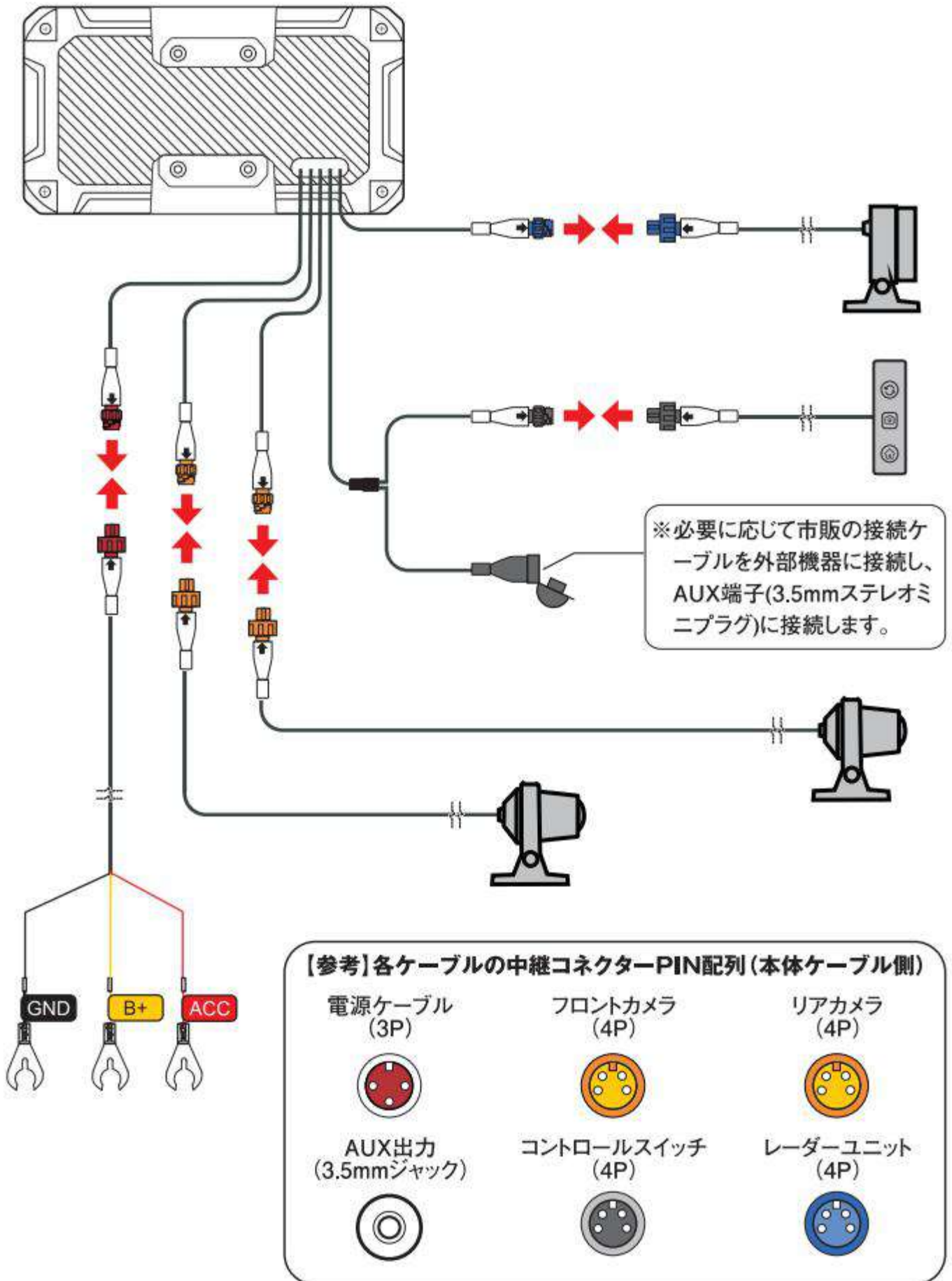
(長さ:約3m)

※M2-PRO:商品に同梱されています。

※M2-01、M2-02:別売オプション

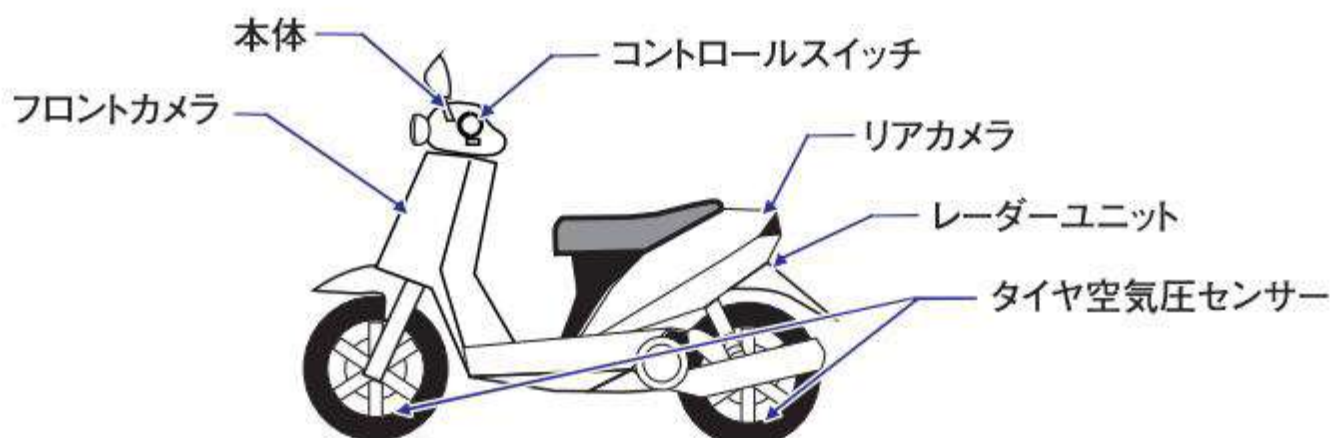
各部の接続

■各部の接続



取り付けの前に

■取り付けレイアウト(例)



⚠ カメラ・レーダーユニットはタイヤが巻き上げた砂や石が当たりにくい場所に取り付けてください。

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形 T20）、10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、サイズの合う工具をお使いください。

■作業の進め方

1. 各部品の取り付け位置を決める
取り付けレイアウトを参考に各部品の取り付け位置を決めます。
※必要に応じ、車両の部品（シートなど）を取り外してください。
2. 本取付前に動作確認する
3. 車両側の部品取り付け場所を清掃する
両面テープで貼り付ける部分の油分や汚れを取り除くため、無水アルコールなどでよく拭き取ります。
4. 本体・各部品を車両に取り付ける
5. 各ケーブルを接続する
6. 取り外した車両部品を元通りに復元する

取り付けの前に

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2.本体に各製品のケーブルの端子を接続する。
- 3.電源ケーブルを接続する。
 - ※BAT端子:車両のバッテリーのプラス端子に接続する。
 - ※ACC端子:車両のイグニッションキーがONのときに12V、OFFのときに0Vとなる線に接続する。
 - ※GND端子:車体のアースに接続する。
- 4.動作確認する(フロント/リアカメラ映像表示など)。
- 5.電源OFFにする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。



⚠ マイナス端子を外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要な場合があります。
- 純正カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

取り付け方法

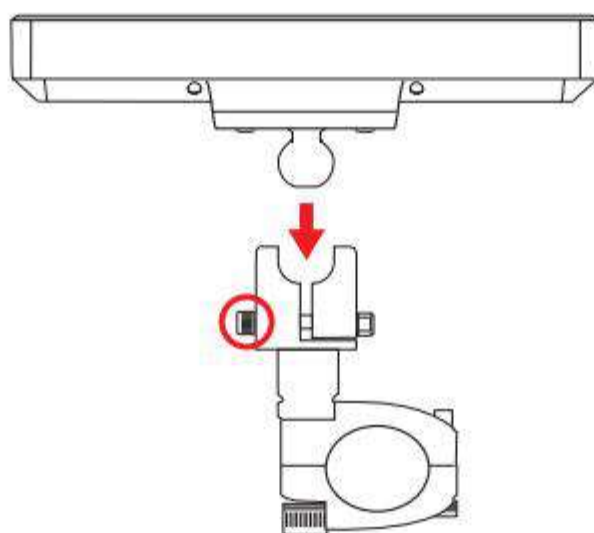
車両メーカーや車種によってそれぞれの取り付け方法が異なります。
商品の不具合や取り付けには危険が伴いますので、必ず専門知識を有する取り付け業者が行ってください。

本体を車両のハンドル等のパイプへ取り付ける

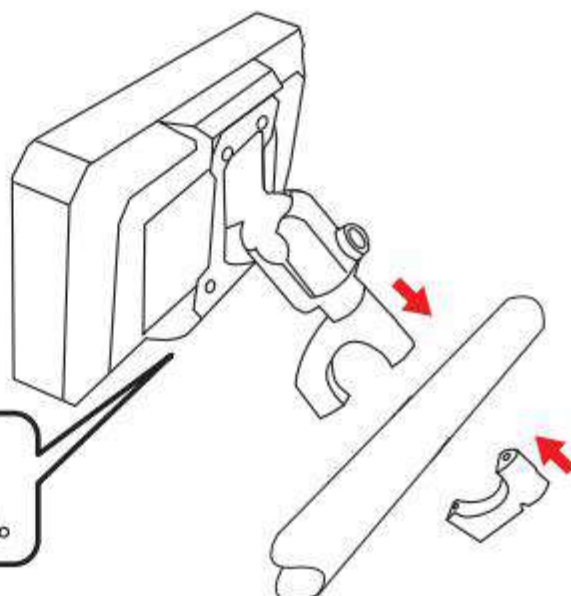
本体はハンドル等のパイプへ装着する事が可能です。装着部の径に合わせスペーサーをご使用ください。

●取付方法について

- ①ブラケットのボールジョイントボルトを緩めて、本体とブラケットを組み合せます。
本体とブラケットを組み合わせたら、ボールジョイントボルトを仮締めしておきます。



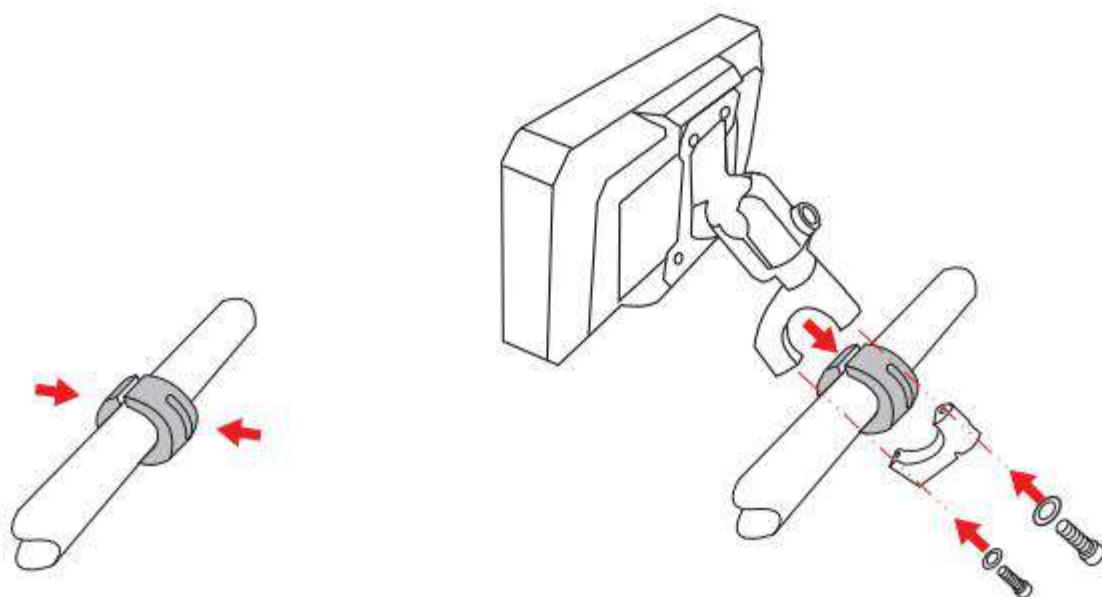
- ②ブラケットのクランプ部のボルトを外し、クランプを分割します。
パイプのストレート部分に仮止めし、取り付ける位置を確認します。



※本機底部 (SDカードスロット) が
下側になるように取り付けてください。

取り付け方法

- ③必要に応じてスペーサーをパイプに仮止めし、クランプを取り付け仮締めします。

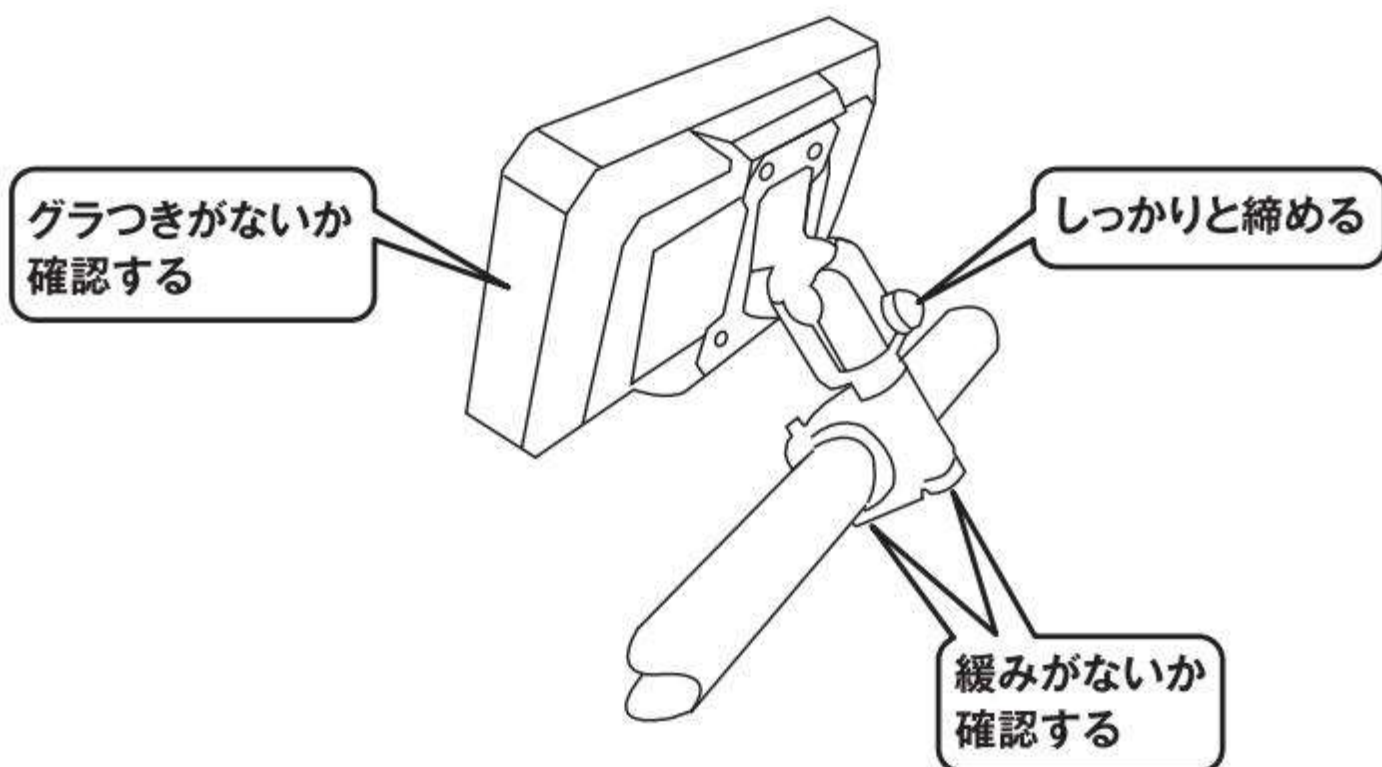


- ④取り付けしたブラケットの向きを調整し、グラつきがないようにボールジョイントボルトとクランプボルトをしっかりと締めます。

ハンドルを左右にきって、本体と接触する部分がないか、運転操作に影響がでないか確認してください。

走行前には、緩みがないか点検してください。

各部を点検し、異常がなければ作業は終了です。

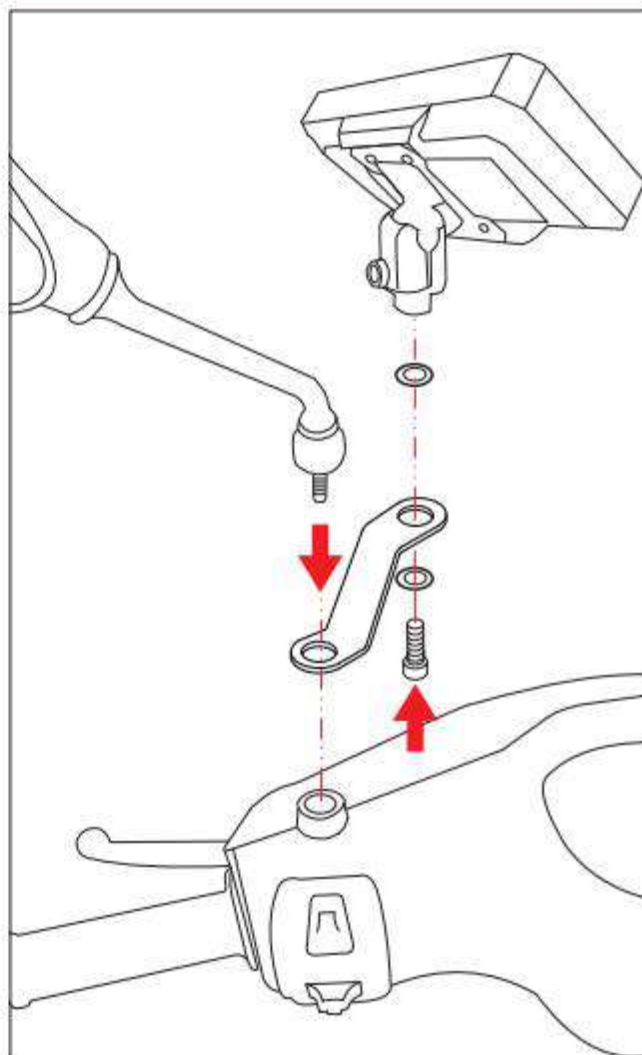
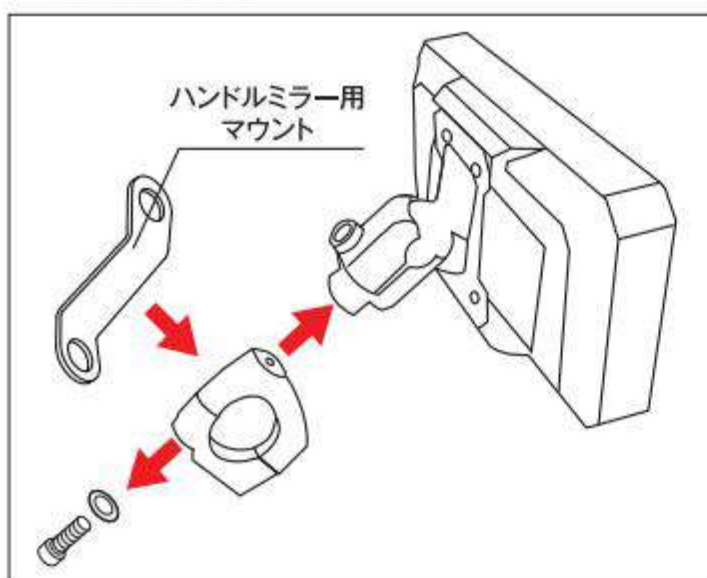


取り付け方法

本体を車両のハンドルミラーへ取り付ける

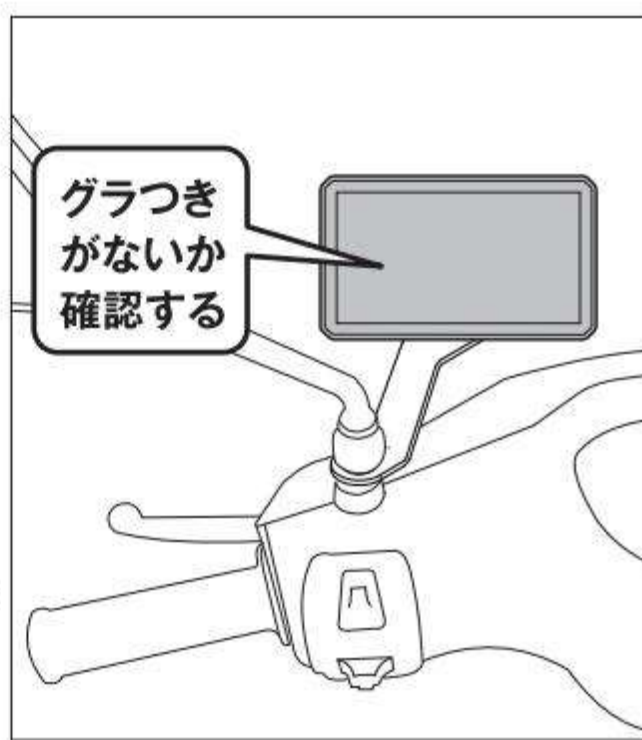
● 取付方法について

- ① 本体とブラケットを組み合わせてから、ボールジョイントボルトを仮締めしておきます。ブラケットのクランプボルトを緩めて、ブラケットのクランプ部分を取り外します。
- ② ブラケットとハンドルミラー用マウントを組み合わせてから、マウントボルトを仮締めしておきます。



- ③ 車両のハンドルミラーを外し、ハンドルミラー用マウントと一緒に共締めしながら、取り付け位置を確認します。
※左右どちら側でも取付ける場所は必ず運転の支障にならない場所に取付けてください。

- ④ 取り付けしたブラケットの向きを調整し、グラつきがないようにボールジョイントボルトとマウントボルトをしっかりと締めます。ハンドルを左右にきって、本体と接触する部分がないか、運転操作に影響がでないか確認してください。走行前には、緩みがないか点検してください。各部を点検し、異常がなければ作業は終了です。



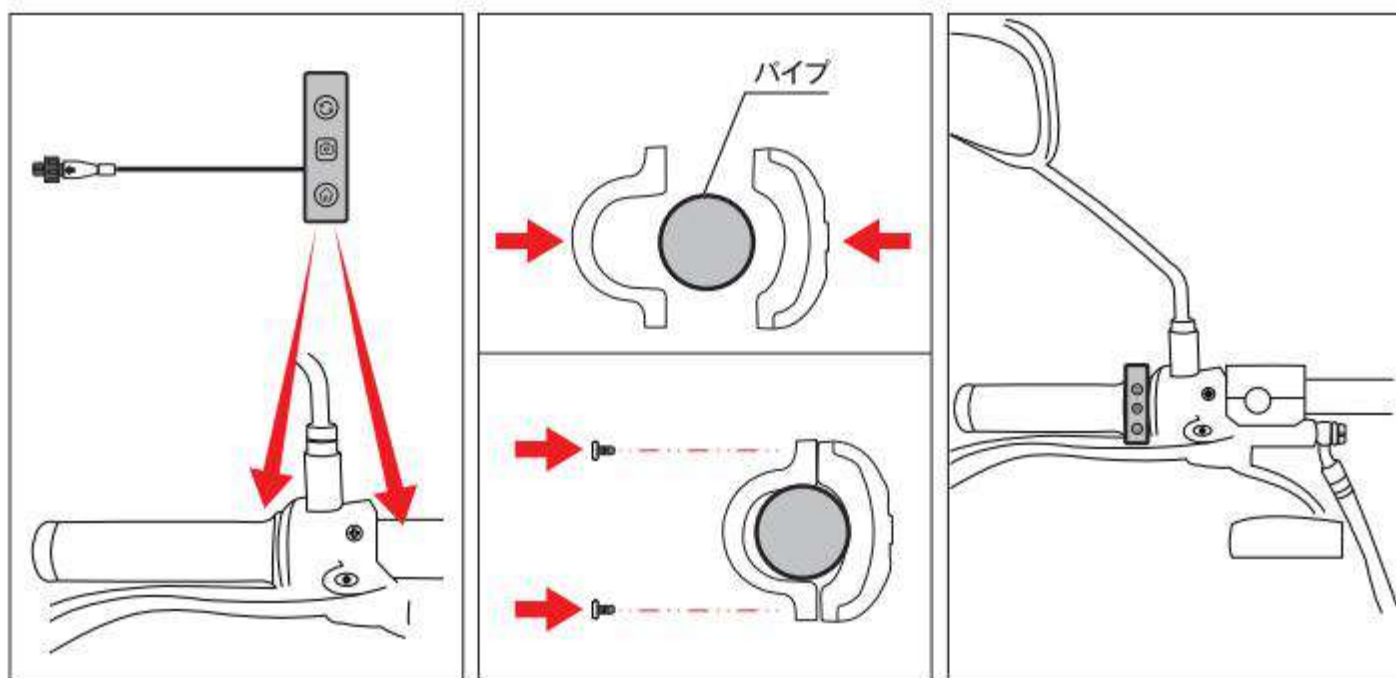
取り付け方法

コントロールスイッチを取り付ける

● 取付方法について

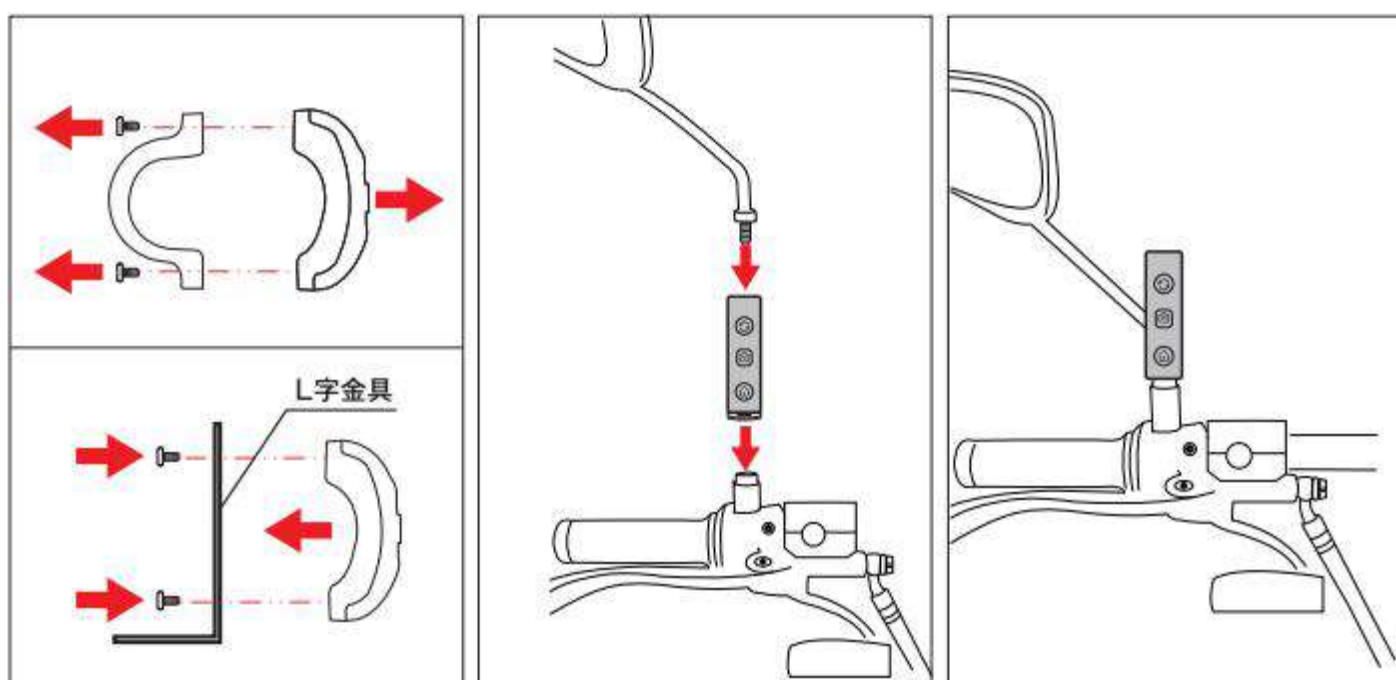
ハンドル等のパイプへ装着する:

コントロールスイッチの固定ねじを緩めて、パイプのストレート部分に仮止めし、取り付ける位置と角度を確認してから、固定ねじをしっかりと締めます。



ハンドルミラーへ装着する:

コントロールスイッチの固定ねじを緩めて、付属のL字金具(ステー)へ固定します。ハンドルミラーを外し、L字金具(ステー)と共締めします。



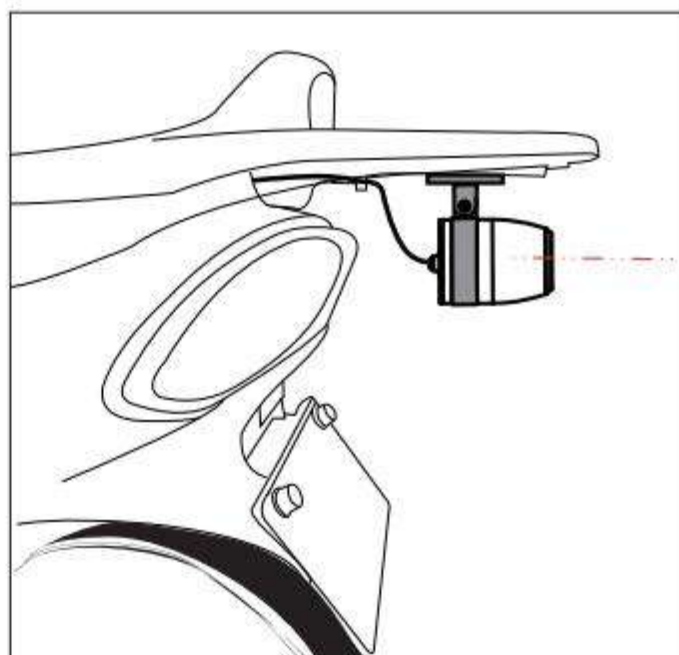
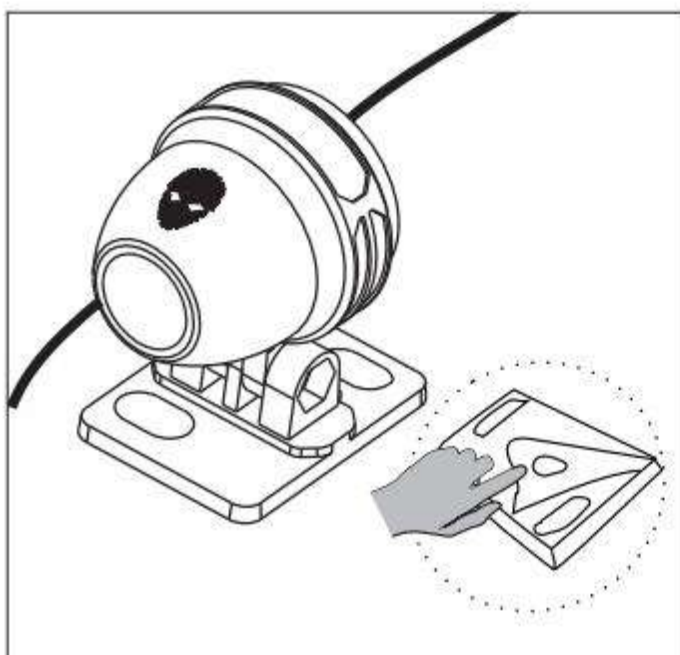
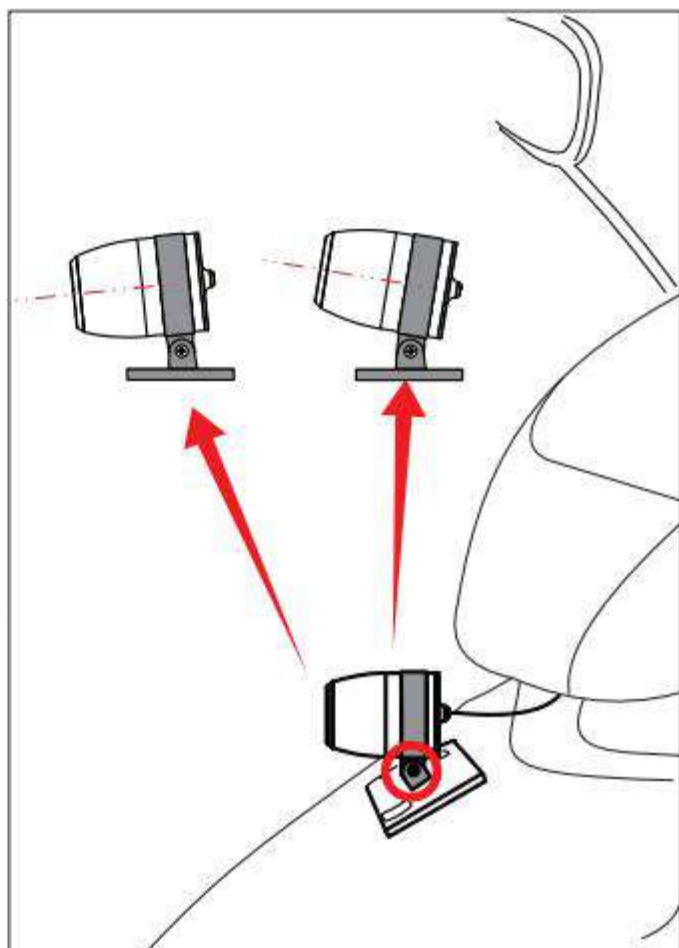
取り付け方法

フロント/リアカメラを取り付ける

● 取付方法について

- ① 運転操作に支障がなく、車両の走行振動や揺れの影響が少ない場所に取り付ける位置を確認します。
- ② カメラステーの固定ねじを緩めて、取り付ける場所に合わせてカメラの角度(上下)を調整し、カメラ前部のTOPマーク(Alien Riderロゴ)が上になるようにカメラを回転させ調整します。
- ③ 決めた取り付け位置の汚れをウェスなどでよくふき取った後に、市販のアルコールクリーナーで脱脂してください。
- ④ カメラステーに貼り付けられている両面テープの保護シートをはがし取り付け位置にしっかり押し付けて固定します。

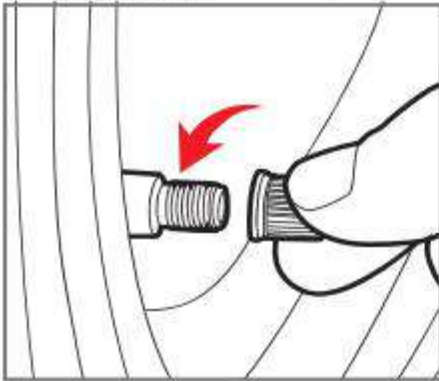
※ 装着の強度を確保するため、接着面の隙間がないことをしっかり確認してください。
※ 接着後24時間はカメラステーに負荷を掛けないでください。



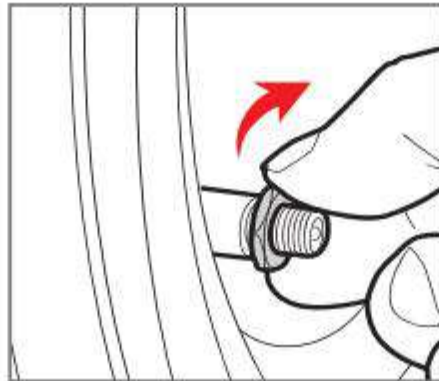
取り付け方法

タイヤ空気圧センサーを取り付ける

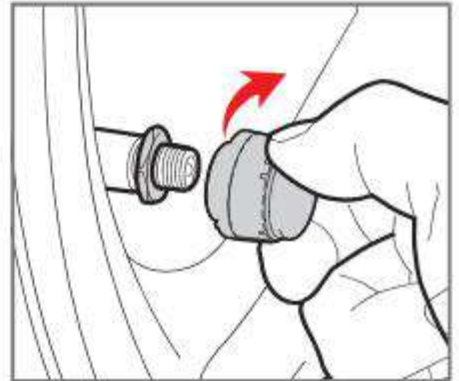
●取付方法について



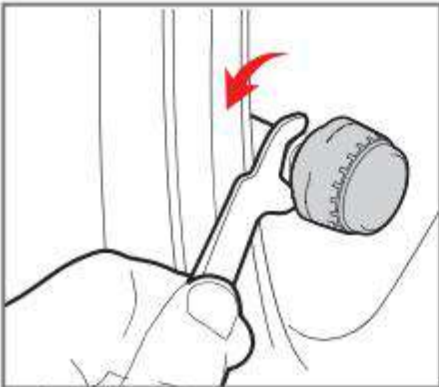
①タイヤのバルブキャップを外します。



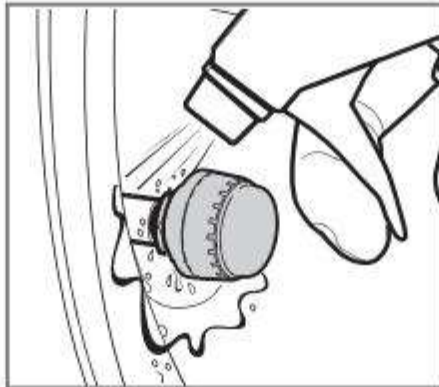
②付属のナットを時計回りにしてバルブの奥まで回してください。



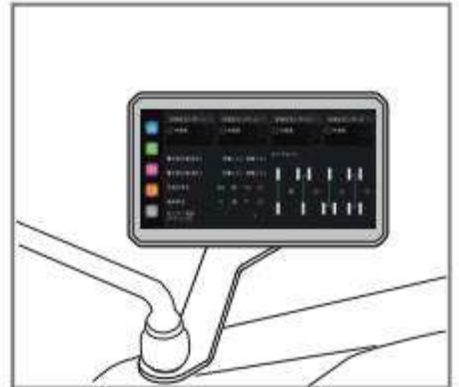
③タイヤ空気圧センサーを時計回りにしっかりと締め付けます。



④付属の専用レンチを使ってナットを反時計回りに回して締め付けます。



⑤バルブとタイヤ空気圧センサーの付近に石鹸水などをかけて、空気漏れがないか、確認をしてください。

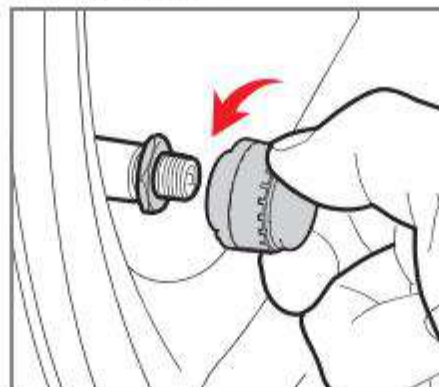


⑥本体の画面にタイヤ空気圧値や温度値が正常に表示されるか、確認をしてください。
※標準付属品のセンサーは出荷前に本体とペアリング済みです。

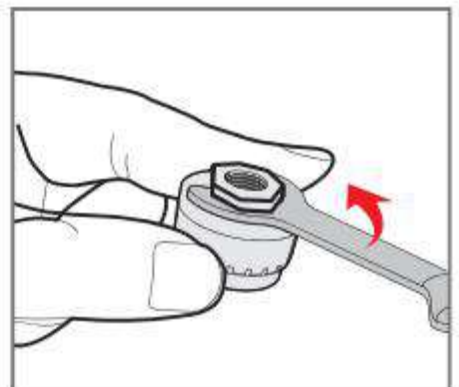
●タイヤ空気圧センサーの電池を交換する



①付属の専用レンチを使ってナットを時計回りに回して緩めます。

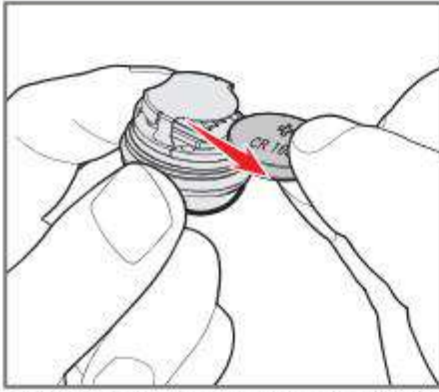


②タイヤ空気圧センサーを反時計回りに回して外します。

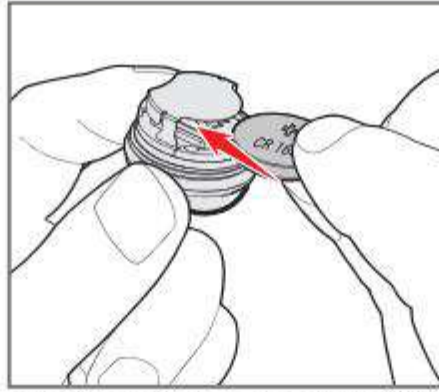


③付属の専用レンチを使ってセンサーキャップを反時計回りに回して外します。

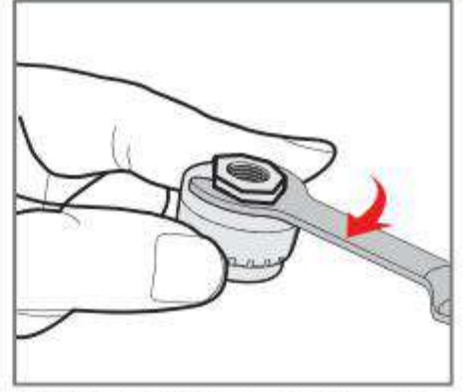
取り付け方法



④ 付属の電池(CR1632)を取り出します。



⑤ 新しい電池(CR1632)に交換します。
※+(プラス)面を上にして奥まで差し込みます。



⑥ 付属の専用レンチを使ってセンサーキャップを時計回りにしっかりと締め付けます。

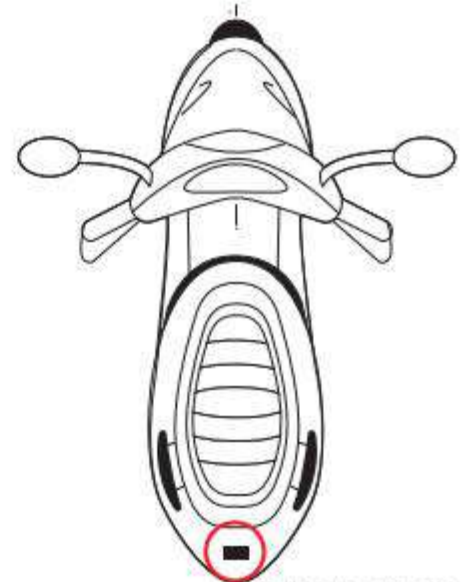
! タイヤ空気圧センサーを装着する際、バルブに水分が付着した状態で装着すると、タイヤ空気圧センサーが故障する場合があります。
装着部をしっかりと乾燥させてから取り付けてください。

レーダーユニットを取り付ける

● 取付条件

下図の条件を満たす場所に取り付け可能です。

地面と垂直方向の
取付高度および角度要求

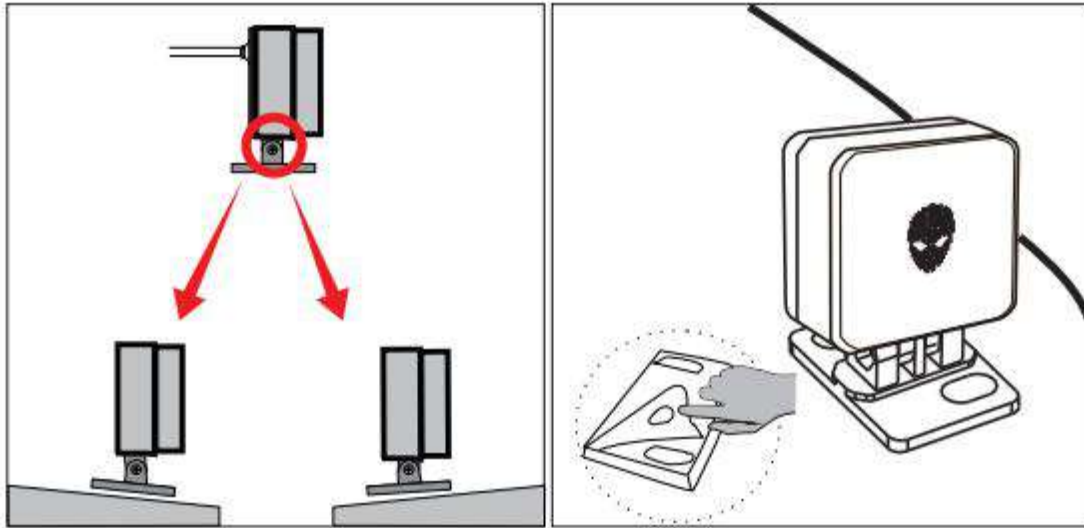


水平方向の
取付角度要求

取り付け方法

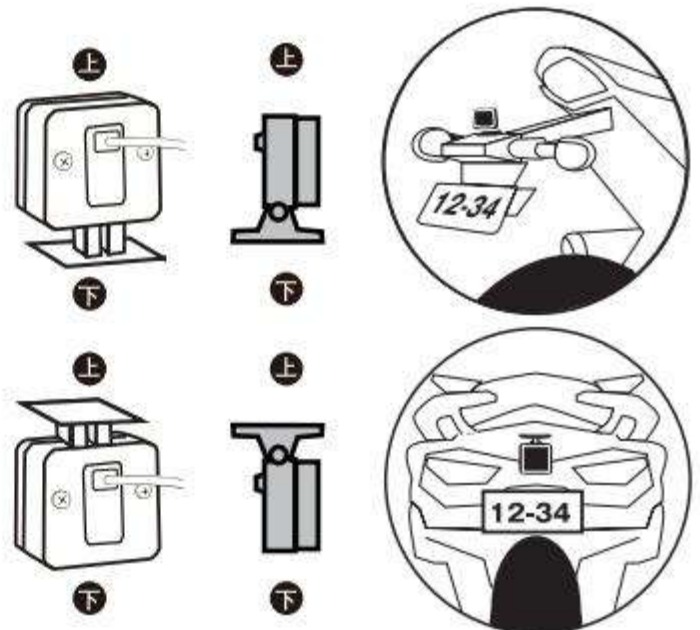
●取付方法について

- ①取付条件を満たす、運転操作に支障がなく、車両の走行振動や揺れの影響が少ない場所に取り付ける位置を確認します。
レーダーユニットのステーの固定ねじを緩めて、取り付ける場所に合わせてレーダーユニットの角度(上下)を調整します。
- ②決めた取り付け位置の汚れをウェスなどでよくふき取った後に、市販のアルコールクリーナーで脱脂してください。
- ③レーダーユニットステーの底部に貼り付けられている両面テープの保護シートをはがし、取り付け位置にしっかり押し付けて固定します。



※レーダーユニットのステーを上下反転してもレーダー本体に装着可能です。必要に応じて、ステー裏側の固定ねじを緩めてレーダー本体から外し、取り付けの方向を変更してください。

※レーダーユニット本体を上下反転しないでください。



取り付け方法

ケーブルの引き回し・電源ケーブルの取り付け

● 取付方法について

- ① コントロールスイッチ、カメラ、レーダーユニットの各ケーブルを本体まで引き回します。
※レーダーユニットはM2-PROのみ。
※ケーブル類は下記事項に注意して配線し、ビニールテープや結束バンド等で脱落しないように固定してください。不確実な配線は、脱落、故障、火災や事故の原因となります。
 - ・エンジン周辺等、高温になる場所に設置しない。
 - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
 - ・車体の可動部等への挟み込みや接触させない。
- ② 電源コード(黄)の端子をバッテリーのプラス端子に接続してください。
- ③ 電源コード(赤)を車両のイグニッションキーがONのときに12V、OFFのときに0Vとなる線に接続してください。
- ④ ③で接続した部分をビニールテープ等で絶縁、防水処理します。
- ⑤ 電源コード(黒)の端子をバッテリーのマイナス端子、またはボディーアースへ接続してください。

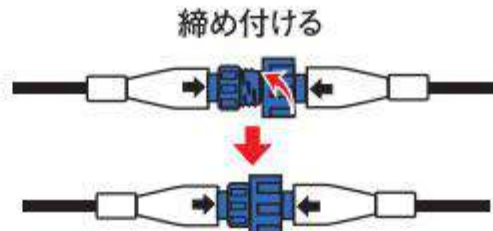
中継コネクタを接続する・ケーブルの固定

● 取付方法について

- ① 各ケーブルの中継コネクタを接続します。



- ② 接続後、ロックナットを締め付けます。



- ③ 車両傷つきや緩みを防止するため、中継コネクタのロックナット部分にビニールテープを巻くなどして固定してください。



- ④ 各ケーブルを結束バンドやビニールテープ等で車両に固定します。

取り付け方法

■車両部品の復元

車両から取り外した部品がある場合は、取り外した部品を元通りに復元します。

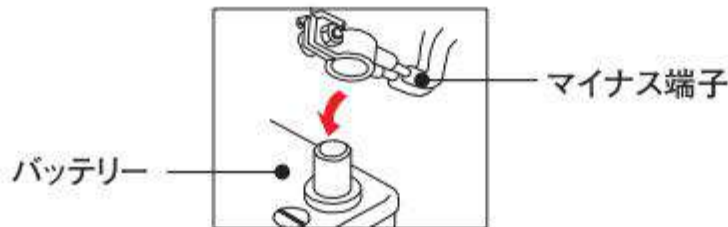


注意

- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。
- 作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

■作業の後に

- 1.取り付けた本体や各部品の配線が正しくされているか確認します。
- 2.本体、フロントカメラ、リアカメラなど各部品がしっかり固定されているか確認します。
- 3.バッテリーのマイナス端子を接続します。



- 4.車両のエンジンをかけ、本体、フロントカメラ、リアカメラなど各部品が正常に動くことを確認します。

※「電源をONにする(取扱説明書 P.27)」を参照してください。

- 5.車両の各種機能や動作に問題がないことを確認します。

以上で取り付け作業は終了です。

電源のON/OFF

■電源をONにする

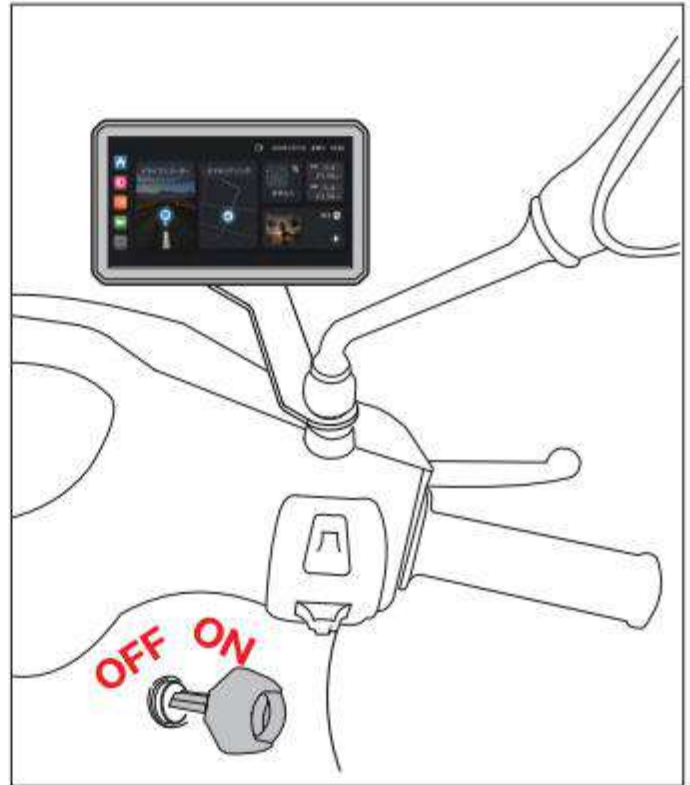
車両のエンジンを始動(イグニッションキーをON)にすると、本機の電源がオンになります。

同時に常時録画を開始します。

※システム起動のため数秒～十数秒かかります。



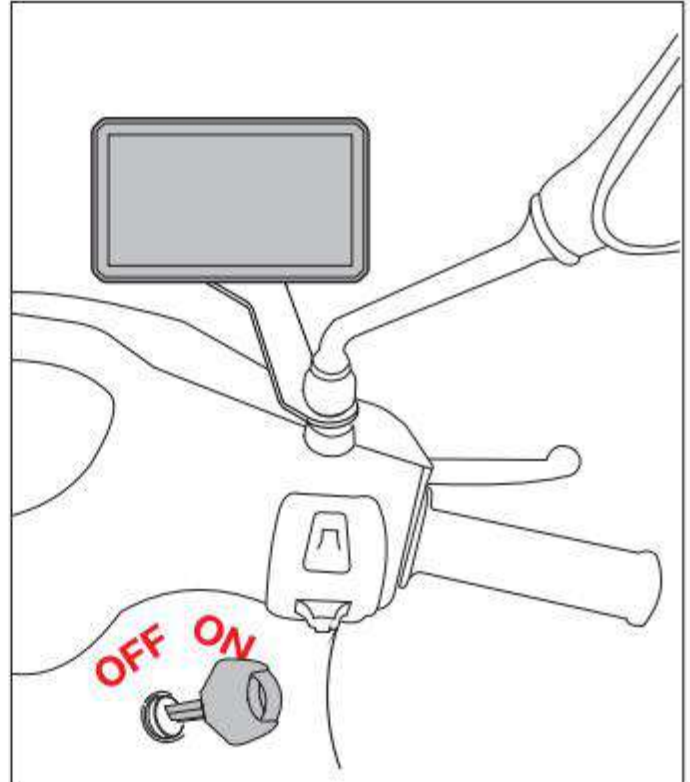
microSDカードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。



■電源をOFFにする

車両のエンジンを停止(イグニッションキーをOFF)すると、本機の電源がオフになります。

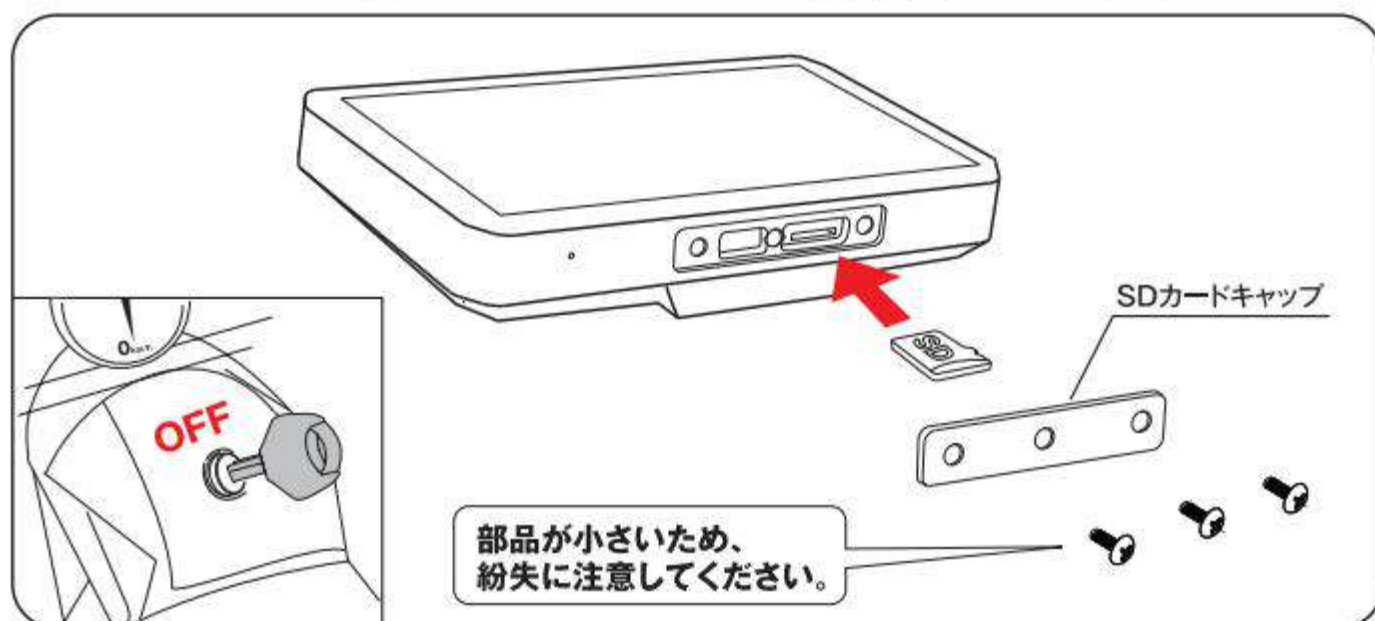
同時に常時録画を停止します。



microSDカードを装着する

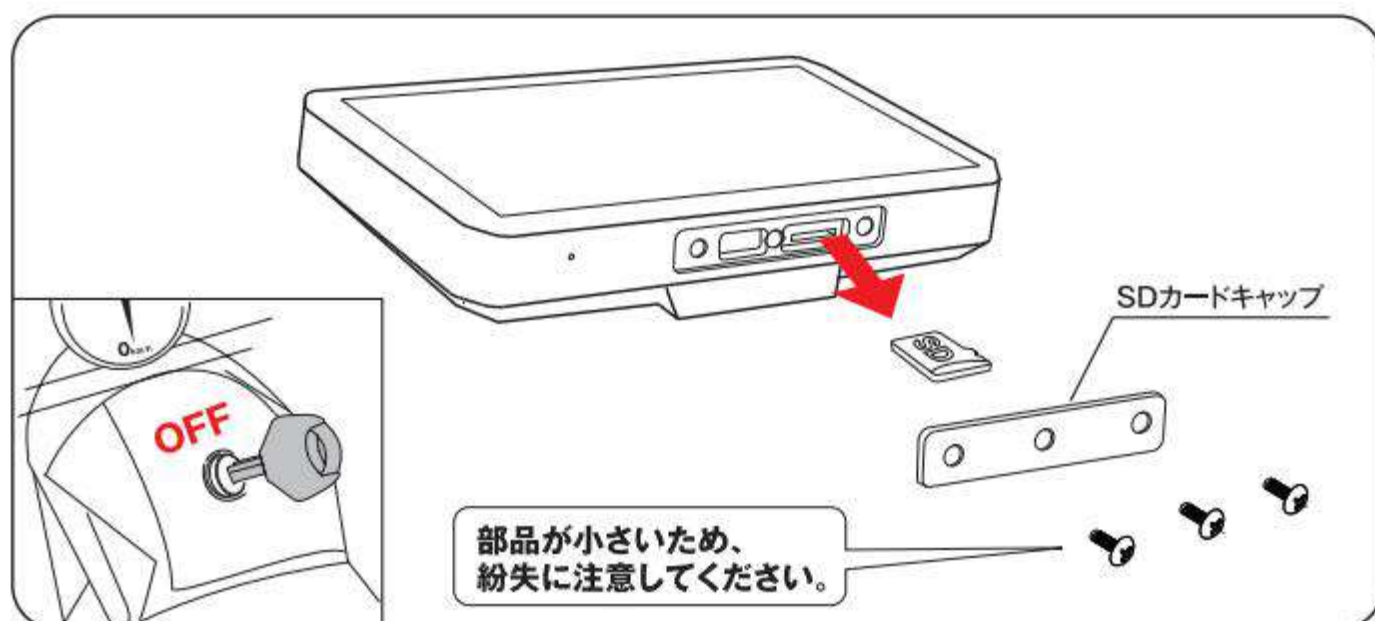
■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源がOFFであることを確認する
- 2.SDカードキャップを外してから、メモリーカードの端子面を裏にして挿入する



■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源がOFFであることを確認する
- 2.SDカードキャップを外してから、メモリーカードを押して、カードが少し出たら引き抜く
※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



ご注意

microSDカードを取り出し/交換する際、引っ掛かりがある状態での作業は行なわないでください。無理な力が加わるとmicroSDカードスロットが破損します。

microSDカードをフォーマットする

以下の手順を行うと、microSDカード内の全てのデータが消去されます。
必要なデータは、パソコンなどにバックアップ(コピー)してください。

●設定画面を使ってフォーマットする方法

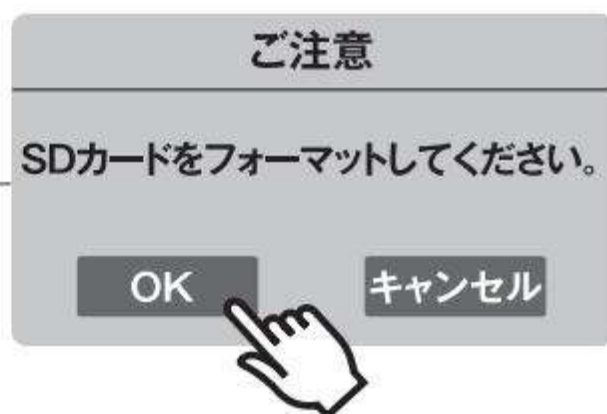
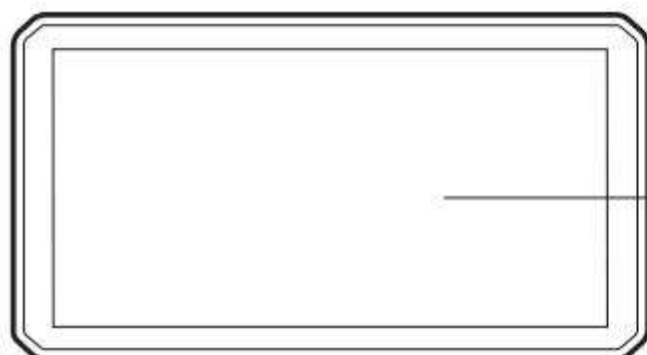
- 1.本機の「ホーム画面」で「設定」ボタンをタップし、設定画面を表示します。
- 2.「フォーマット」アイコンをタップします。
- 3.フォーマットの確認画面で「OK」をタップします。



●microSDカード認識エラーメッセージが表示される場合

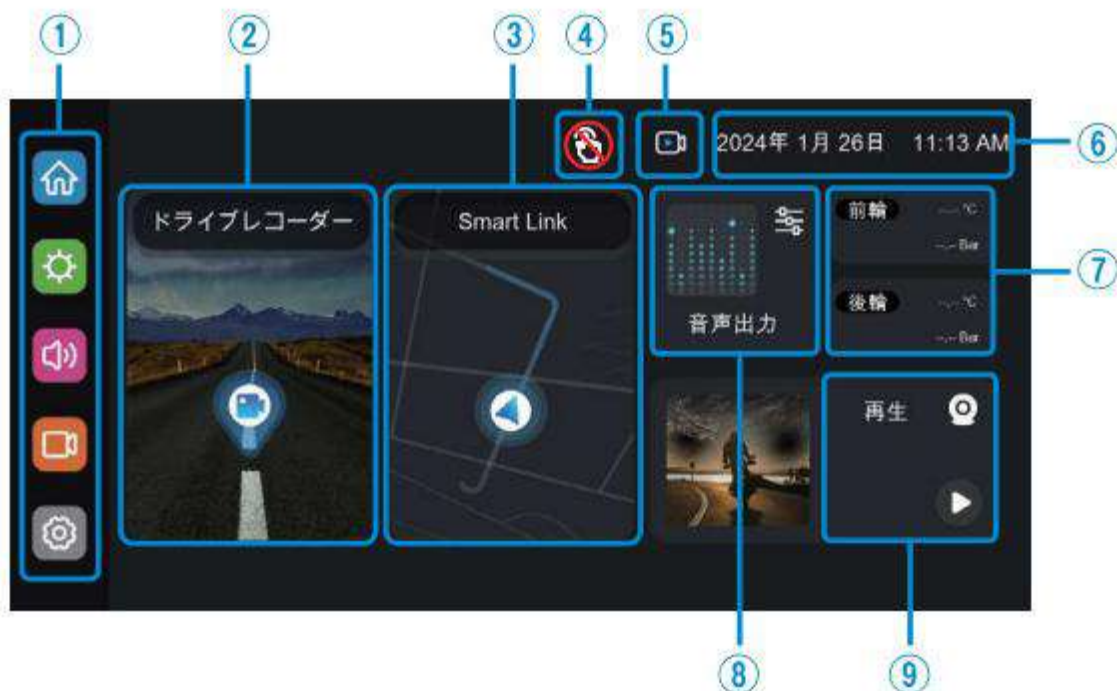
microSDカードが「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、本機のディスプレイに「SDカードをフォーマットしてください。」とエラーメッセージが表示されます。

- 1.microSDカード認識エラーメッセージに「OK/キャンセル」と表示されます。
- 2.「OK」をタップします。



ホーム画面

本機が起動すると、次の画面(ホーム画面)を表示します。
ホーム画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① アイコン一覧 各操作(設定)5アイコンを表示。



ホーム画面に戻ります。



AUX出力の音量調整を行います。



設定画面へ切替えます。



輝度調整を行います。
※昼用アイコンと夜用アイコンがあります。



再生画面へ切替えます。

② 「ドライブレコーダー」ボタン

ドライブレコーダー画面へ切替えます。

⑥ 日時表示

スマートフォンと接続時更新されます。

③ 「Smart Link」ボタン

Smart Link画面へ切替えます。

⑦ タイヤ空気圧表示

タイヤ空気圧に関するデータを表示します。

④ 「防水ロック」アイコン

「防水ロック」を設定した時に表示されます。

⑧ 「音声出力」ボタン

音声出力先設定画面へ切替えます。

⑤ 「録画中」アイコン

録画中に表示されます。

⑨ 「再生」ボタン

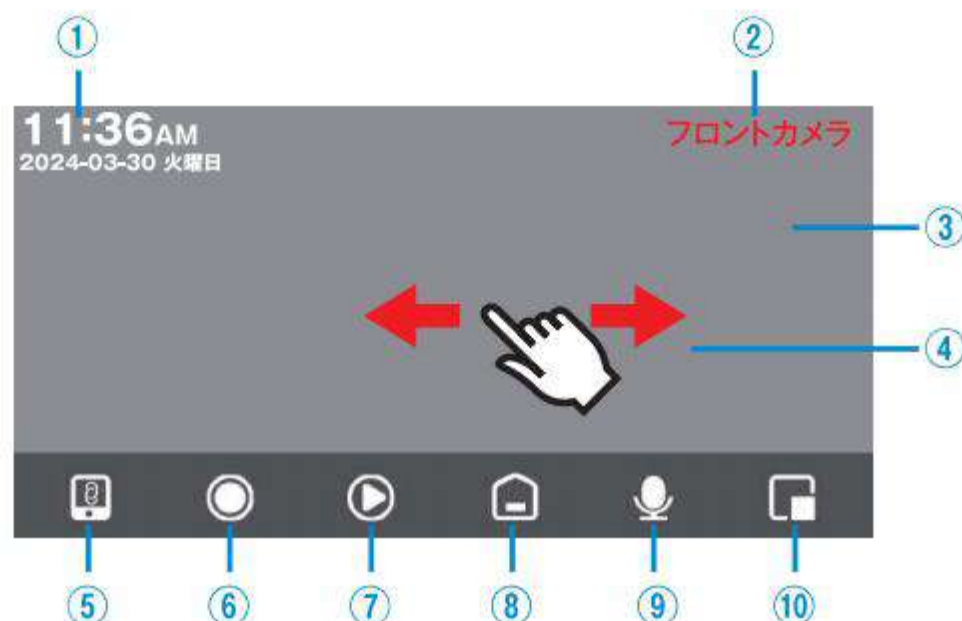
再生画面へ切替えます。

ドライブレコーダー機能を使う

本機に接続したカメラで、走行中の様子を動画や静止画で撮影します。また、内蔵マイクで音声も収録します。

※ドライブレコーダー機能を使用するために、あらかじめ本機に市販のmicroSDカードを入れてください。

「ホーム画面」で「ドライブレコーダー」ボタンをタップすると、ドライブレコーダー画面が表示されます。ドライブレコーダー画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 日時表示

時間・日付を表示します。

② 表示カメラ

表示中のカメラ(リアカメラ/フロントカメラ)です。

③ 映像表示

カメラ映像を表示します。

④ 表示カメラ切替

画面を左右になぞると、カメラをフロント/リアカメラ⇒フロントカメラ⇒リアカメラ の順で画面切り替えができます。

⑤ 「Smart Link」ボタン

Smart Link画面へ切替えます。

⑥ 「録画」ボタン

録画のオフ/オンをします。
※録画中は赤色で表示されます。

⑦ 「再生」ボタン

再生画面へ切替えます。

⑧ 「ホーム」ボタン

ホーム画面へ切替えます。

⑨ 「音声録音」ボタン

音声録音のON/OFFを設定できます。
※音声録音OFF時:マイクのアイコンに斜め線のマークが表示されます。

⑩ 表示カメラ切替

液晶に表示するカメラ映像を切り替えます。

ドライブレコーダー機能を使う

■常時録画(連続録画)

本機の電源が入ってから切れるまでの映像を1分/3分/5分ごとに記録します。
常時録画中に録画ボタンを押すと録画を停止し、録画待機モードになります。再度録画ボタンを押すと録画を再開します。
常時録画ファイルは常時録画域(フォルダ:VIDEO)に記録します。

《例》ループ録画(上書き録画):ON



■イベント録画(衝撃検知・手動)

●衝撃検知記録

常時録画中に本機のGセンサーが衝撃を検知すると、録画ファイルをイベント録画域(フォルダ:SOS)に記録します。

●手動記録

常時録画中にコントロールスイッチの「カメラ」ボタンを3秒押すと、録画ファイルをイベント録画域(フォルダ:SOS)に記録します。

事故が発生しても、衝撃が弱いなどの原因で衝撃を検知できない場合があります。その場合やおおり運転されたシーンなど衝撃が無い場合でも手動録画しておく、再生時に録画したデータを探しやすくなります。

《例》ループ録画(上書き録画):ON



■静止画撮影

コントロールスイッチの「カメラ」ボタンを短押すと、車両前方と後方の風景や気になるポイントの静止画をフロント/リアカメラで撮影し、静止画域(フォルダ:PHOTO)に記録します。

ドライブレコーダー機能を使う

●映像を再生する

記録した録画・静止画ファイルを本機上で見ることができます。

本機の「ホーム画面」で「再生」ボタンをタップすると、再生画面が表示されます。

再生リストより再生したいファイルを選び、ファイル名をタップすると再生を開始します。

再生画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 録画画像/静止画

録画した映像を表示します。

② シークバー

再生位置の表示と再生位置を指定できます。

③ 再生/一時停止

再生/一時停止します。

④ 先送り

再生中の次の映像を表示します。

⑤ 再生経過時間/総再生時間

再生中の映像の再生経過時間/総再生時間を表示します。

⑥ 全画面表示

再生中の映像を全画面表示します。

⑦ 戻るボタン

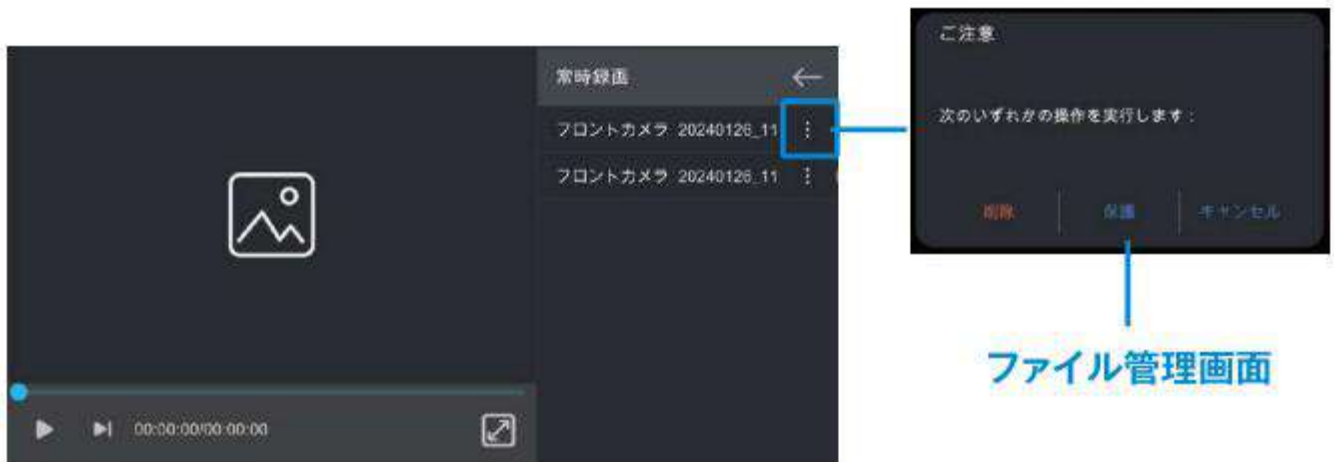
ホーム画面へ切替えます。

⑧ 再生リスト

フォルダ・ファイル一覧が表示されます。

ドライブレコーダー機能を使う

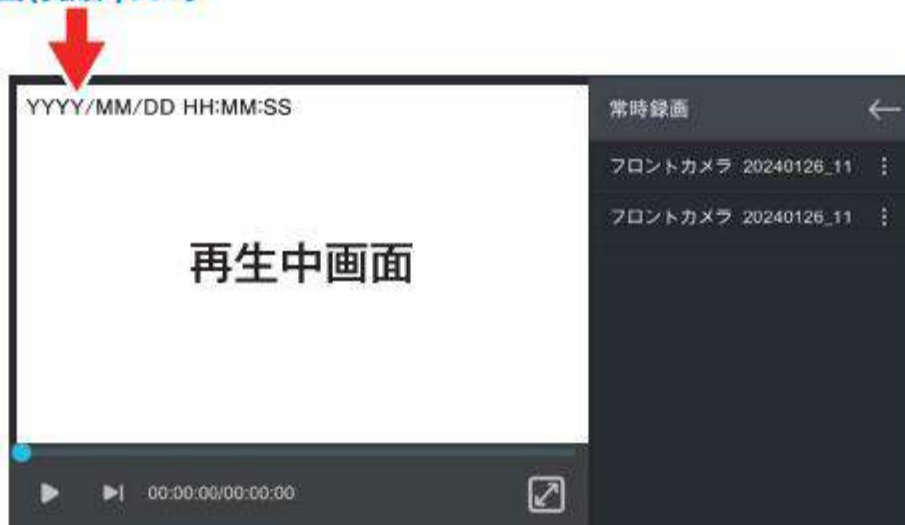
ファイル名の横の「⋮」ボタンをタップすると、ファイル管理のメッセージを表示、選択した録画や静止画ファイルの削除、または保護/保護解除に関する各操作を行います。



●再生中画面

再生中画面の左上隅に撮影時の日時情報が表示されます。

録画(撮影)日時

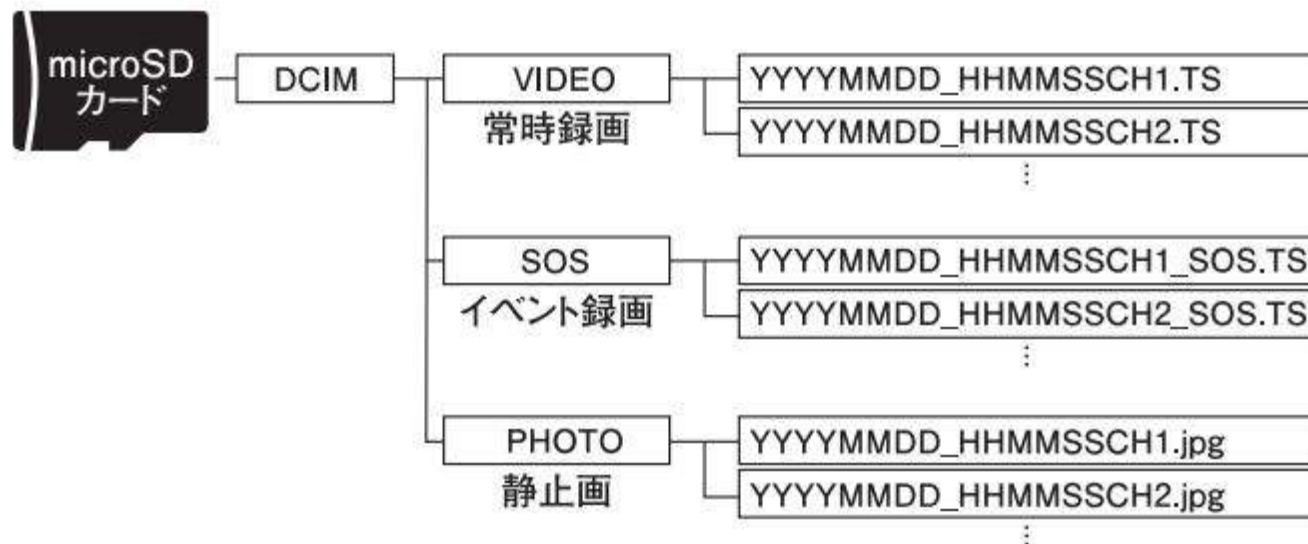


ドライブレコーダー機能を使う

●フォルダ構成

microSDカードに常時録画ファイル・イベント録画ファイル・静止画ファイルが保存される際、それぞれの専用フォルダが作成され、以下のような構成になります。

※データ種別により保存されるフォルダが異なります。



●ファイル名称

ファイル名称は録画(撮影)した年月日、時分秒、カメラの組み合わせで作成します。フロントカメラとリアカメラによってファイル名称が異なります。また、録画ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

例:

20240421_142052CH1.TS

年、月、日

時、分、秒

CH1:フロントカメラ

CH2:リアカメラ

録画拡張子:「.TS」

静止画拡張子:「.jpg」

20240421_142052CH1_SOS.TS

イベント録画

※ご注意:フロント映像とリア映像のファイル間で秒数値が1秒ほど異なる場合があります。

※パソコンによって拡張子は表示しない場合があります。

Smart Link機能を使う

Smart Link機能(スマートフォン連携機能)によって、スマートフォンを簡単に本機に接続でき、一部のスマートフォン上のアプリを使用できます。

また、本機で記録した動画や静止画をスマートフォンへ転送することもできます。

Smart Link機能のペアリングをやり直す場合は、必ず「ペアリングを解除する」を実行してください。※P.51「本体設定」参照

Smart Link画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 「Carplay」 ボタン

iPhoneとのペアリングモードへ切替えます。

② 「Android Auto」 ボタン

Androidスマートフォンとのペアリングモードへ切替えます。

③ 「Bluetooth」 ボタン

Bluetoothオーディオ操作モードへ切替えます。

④ 「アプリ連携」 ボタン

専用スマートフォンアプリ「Moto-DVR」との接続モードへ切替えます。

⑤ 「接続手順」 ボタン

接続手順を表示します。

⑥ 接続説明 (本機名)

接続用の本機名称を表示します。

Smart Link機能を使う

■iPhoneとのペアリング

iPhoneと本機を無線接続することで、CarPlayをご利用いただけます。

※CarPlayをサポートする機種および対応アプリ、接続方法、使用方法につきましては、Apple公式ホームページで詳細をご確認ください。

<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

※スマートフォンやアプリの仕様によって、本機の画面に表示できない場合があります。

●初期設定の流れ

①Smart Link画面で「Carplay」を選択します。



②iPhoneと本機をBluetoothで接続します。

iPhoneのBluetoothを有効にし、本機のデバイス名「M2PRO-XXXX」に接続します。



③iPhoneの画面に表示する「Carplayを使う」をタップすると、ペアリングが完了します。

※次回起動時は自動で接続されます。

※お使いの機種によって、iPhoneの設定画面は異なります。



Smart Link機能を使う

■Androidとのペアリング

Androidと本機を無線接続することで、Android Autoをご利用いただけます。

※Android Autoをサポートする機種および対応アプリ、接続方法、使用方法につきましては、Android公式ホームページで詳細をご確認ください。

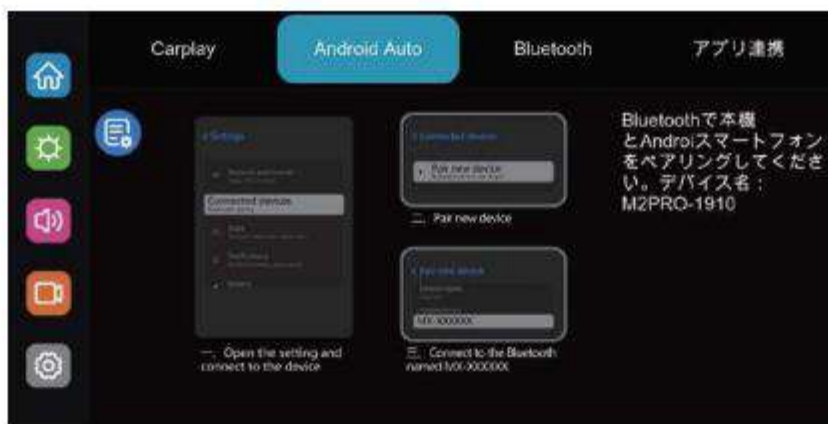
<https://www.android.com/auto/>

<https://support.google.com/androidauto>

※スマートフォンやアプリの仕様によって、本機の画面に表示できない場合があります。

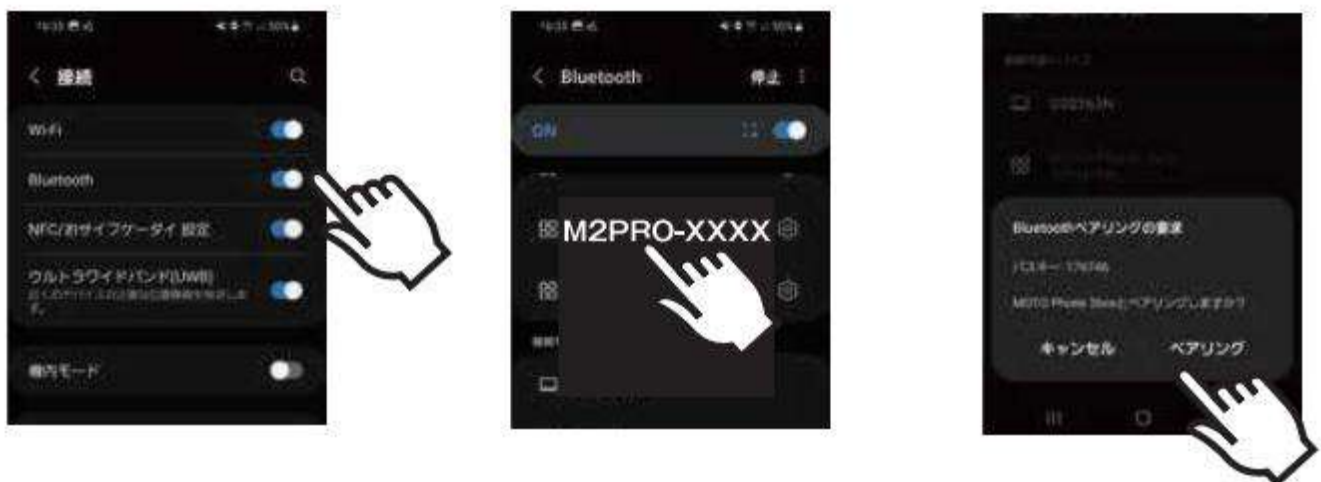
●初期設定の流れ

①Smart Link画面で「Android Auto」を選択します。



②Androidスマートフォンと本機をBluetoothで接続します。

AndroidスマートフォンのBluetoothを有効にし、本機のデバイス名「M2PRO-XXXX」に接続します。



③Android Autoが起動します。

ペアリングが完了します。

※次回起動時は自動で接続されます。

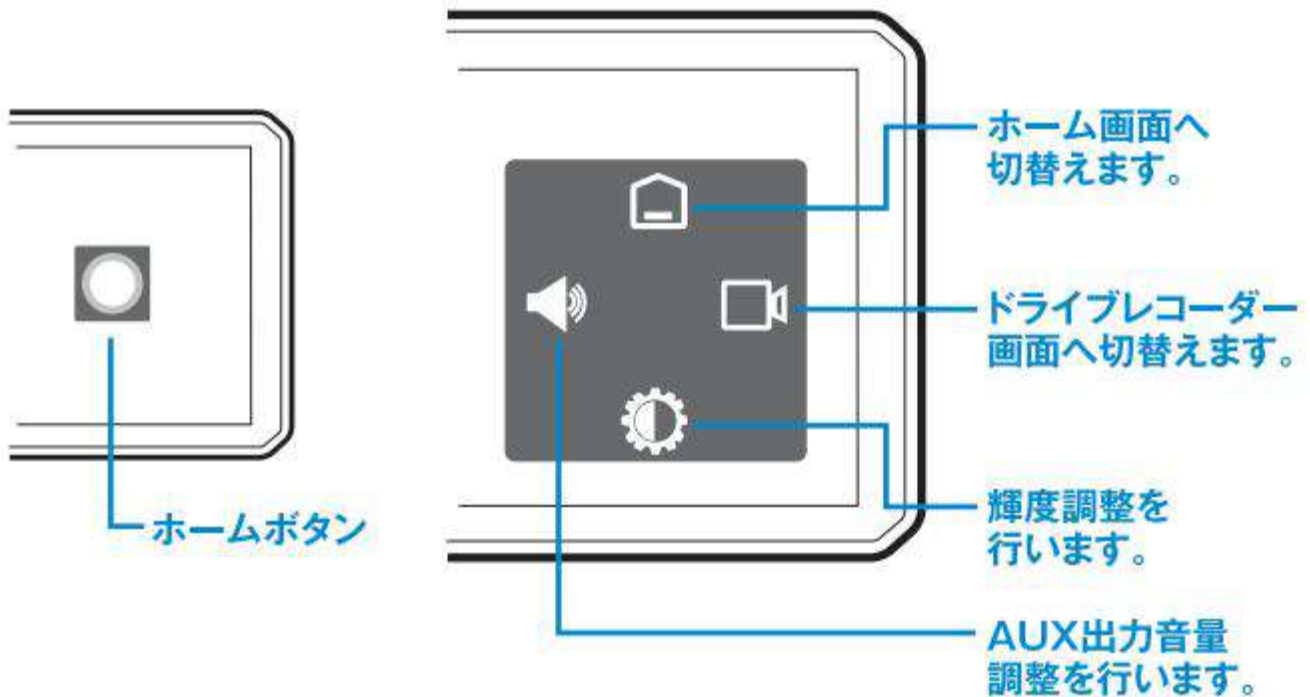
※お使いの機種によって、スマートフォンの設定画面は異なります。

Smart Link機能を使う

■(仮想)ホームボタンについて

本機の「設定」>「ホームボタン」の設定をオンにすると、接続完了のCarplayとAndroid Autoの画面上にホームボタンが表示されます。※P.52「本体設定」参照

ホームボタンのアイコンをタップすることで、各操作4アイコンが表示されます。



■Bluetoothオーディオ操作

「Bluetooth」ボタンを押すと、Bluetoothオーディオ操作画面が表示されます。

スマートフォンと本機をBluetoothで接続すると、スマートフォンに収録されている音楽を再生できます。

Bluetoothオーディオ操作画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



Smart Link機能を使う

■アプリ連携

専用スマートフォンアプリ「Moto-DVR」を使用し、スマートフォンと本機を無線LAN (Wi-Fi) で接続することにより、ドライブレコーダーの撮影映像表示や記録したファイルの再生・消去、スマートフォンへ転送することが出来ます。

●専用スマートフォンアプリ「Moto-DVR」の入手方法

専用スマートフォンアプリ「Moto-DVR」は、App Store(iOS) またはGoogle Play (Android) の公式アプリストアの検索画面から「Moto-DVR」と入力し、検索してインストールすることが出来ます。

※アプリが正常にダウンロードできてもお客様の端末状態や通信の状況等によっては、ご利用いただけない場合がございます。

※スマートフォンの4G/5G回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり、動画や静止画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。



●専用スマートフォンアプリ「Moto-DVR」の主な機能

- ・カメラ撮影角度の確認
- ・microSDカード内の録画・静止画ファイルの再生
- ・専用スマートフォンアプリに保存した録画・静止画ファイルの再生
- ・録画・静止画ファイルの管理(個別・複数のファイルを削除/ダウンロード/転送する)

●アプリ開始までの流れ(スマートフォンを本機のWi-Fiに接続する)

- ①スマートフォンの「Wi-Fi機能」をONにします。
- ②スマートフォンのWi-Fi設定の接続先一覧から、本機のWi-Fi名「M2PRO-XXXXXX」を選択し、パスワード「12345678」を入力して接続します。

※本機のWi-Fi名はアプリ連携画面に表示されます。

※Wi-Fiの接続方法はお使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

- ③「Moto-DVR」アプリを起動します。

Smart Link機能を使う

- スマートフォン専用アプリ<TOP画面>の各表示名称・内容について説明します。



① 接続方法ボタン

接続方法を表示

② カメラ切り替えボタン

フロント/リアカメラを切替

③ 全画面表示ボタン

映像表示画面を全画面表示に切替

④ リアルタイム映像確認ボタン

リアルタイム映像の表示を開始

⑤ 静止画撮影ボタン

静止画(キャプチャー)を保存

⑥ リアルタイム映像終了ボタン

リアルタイム映像の表示を終了

⑦ 再生(ドライブレコーダー)ボタン

「再生リスト(SDカード)」の画面を表示

⑧ 再生(ダウンロード済み)ボタン

「再生リスト(ダウンロード済み)」の画面を表示

⑨ ファームウェアアップデートボタン

※使用しません。

⑩ アプリバージョンボタン

アプリ情報画面を表示

Smart Link機能を使う

- スマートフォン専用アプリ<再生リスト>の各表示名称・内容について説明します。



① 戻るボタン

TOP画面へ戻る

② 削除ボタン

選択したファイルを削除

③ ダウンロードボタン

選択したファイルをアプリへ保存

④ 選択ボタン

ファイル選択モードを開始

⑤ 常時録画フォルダボタン

常時録画フォルダを表示

⑥ イベント録画フォルダボタン

イベント録画フォルダを表示

⑦ 静止画フォルダボタン

静止画フォルダを表示

⑧ 撮影日付

撮影した動画・静止画の日付を表示

⑨ サムネイル

画像をタップすることで動画・静止画が再生開始

⑩ ファイル情報

記録時間・ファイルのサイズを表示

Smart Link機能を使う

●スマートフォン専用アプリ<再生中画面>の各表示名称・内容について説明します。



① 戻るボタン

再生画面を終了

④ 再生経過時間

再生経過時間を表示

② ダウンロードボタン

再生中のファイルをダウンロード

⑤ シークバー

再生位置の表示と再生位置を指定

③ 再生/一時停止ボタン

再生を開始/一時停止

⑥ 総再生時間

総再生時間を表示

音声出力先設定

本機にはスピーカーが内蔵されていません。本機のAUX端子を使用すると、AUX端子から音声を出力できます。

スマートフォンに接続してCarplayとAndroid Autoをお使いになる場合、CarplayとAndroid Autoの認証後に本機とのBluetooth接続が自動的に解除されますので、スマートフォンとインカムやワイヤレスイヤホンなどにペアリングすることで、CarplayとAndroid Autoの音声をインカムやワイヤレスイヤホンなどで聞くことができます。

※一度ペアリングされると次回起動時からペアリングが不要です。

※CarplayとAndroid Autoに関する音声の入力機能(マイク)もインカムやイヤホンから入力されます。

必要に応じて、「ホーム画面」>「音声出力」画面より、音声出力先を「Bluetooth」か「AUX」を設定してください。

■TPMS機能について

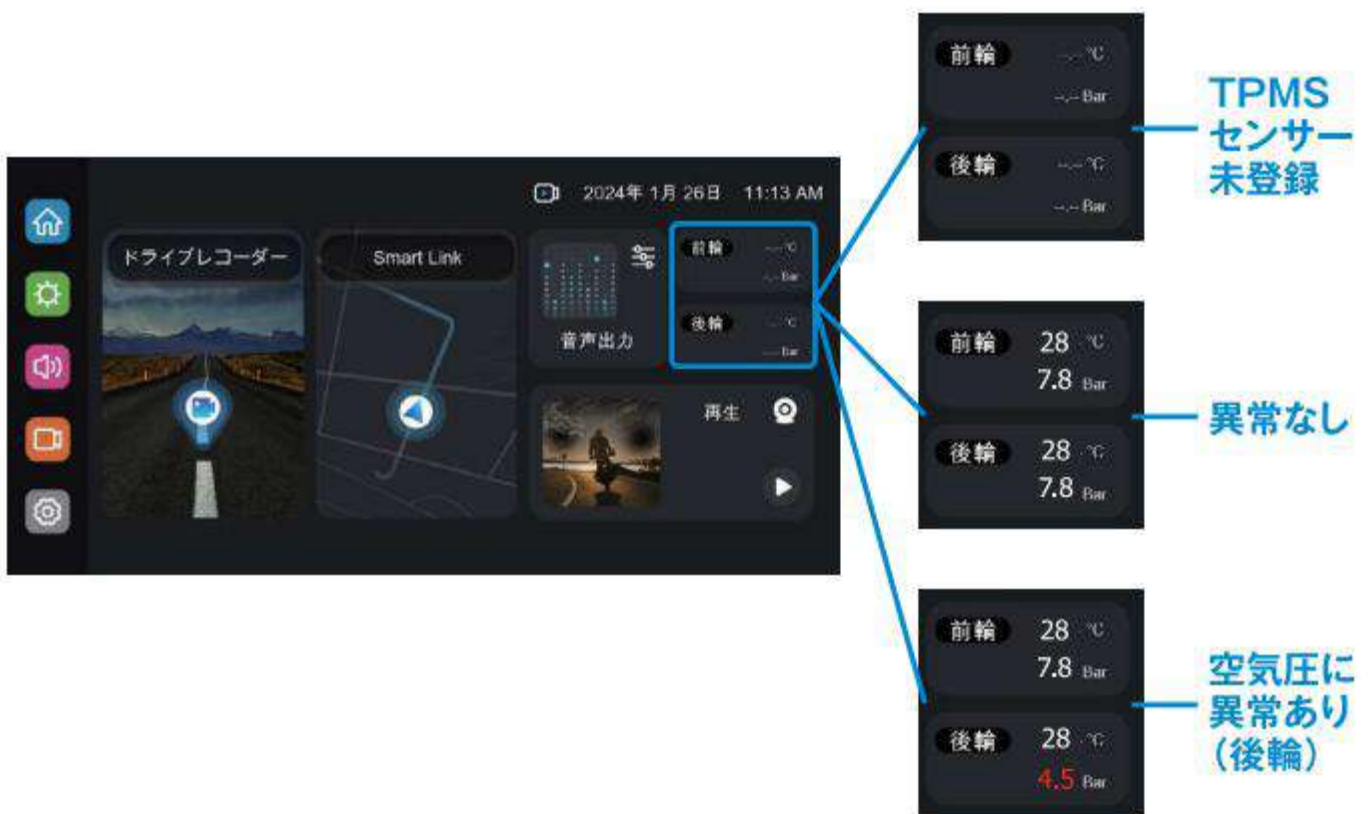
TPMS (Tire Pressure Monitoring System) 機能は、タイヤの空気圧と温度をセンサーキャップで測定し、無線で本機に情報を送り、リアルタイムで空気圧、温度を確認できるシステムです。

■表示画面の説明

各TPMSセンサーの信号を受信してから、タイヤ空気圧とタイヤ温度の数値を<ホーム画面>の右上に表示します。

空気圧の数値は正常範囲内のときは白色、異常があるときに赤色で表示されます。

※システムがデフォルト値とするタイヤ空気圧はBarを、タイヤ温度は℃を表示します。



タイヤセット・登録したタイヤ空気圧センサーの数量によって表示画面が変わります。

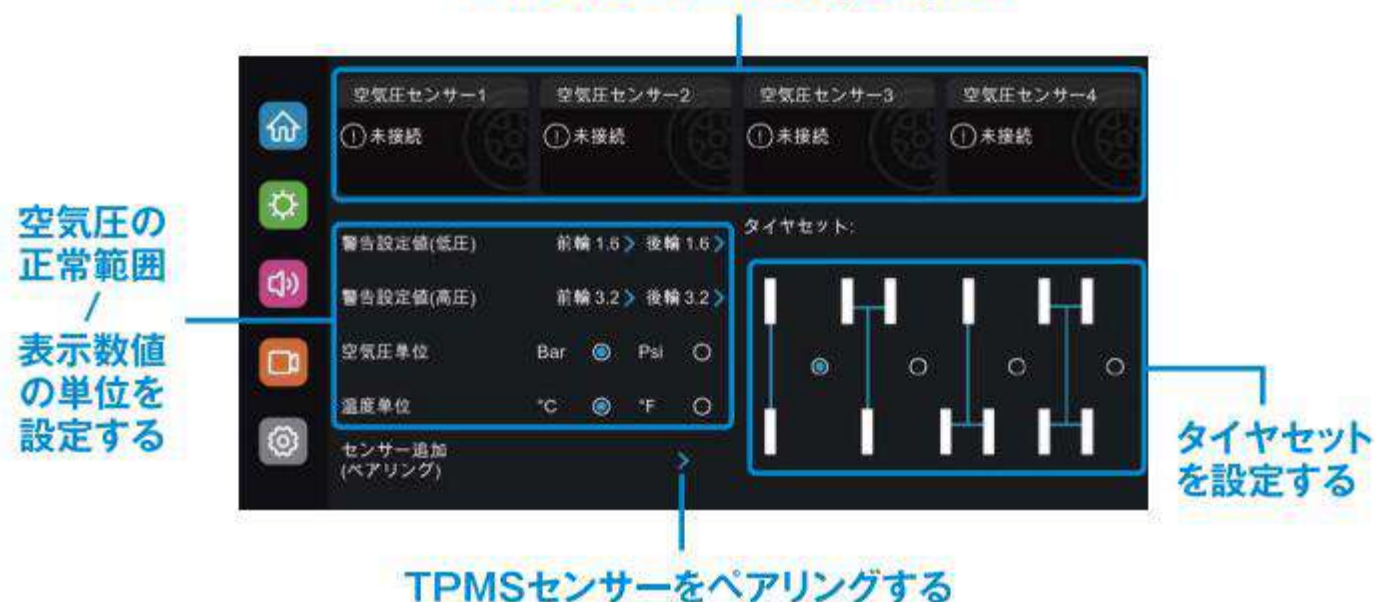
例:



■TPMS機能を設定する

<ホーム画面>の右上の空気圧表示エリアをタップすると、TPMS機能の設定画面へ移行します。

TPMSセンサーの接続(登録)画面



●使用空気圧値の設定

タイヤホイールのマッチングに合わせて、通常使用する空気圧の値を設定します。期設定値は1.6BAR～3.2BARとなります。

●センサーのペアリング設定(センサー追加登録/センサー交換時/タイヤローテーション時のみ)

TPMSセンサーを交換・追加した場合、またはタイヤの位置をランダムに交換した場合に必要になります。

ペアリング手順:

1.「タイヤ追加(ペアリング)」横の「>」ボタンをタップし、「前輪」をタップします。

2.TPMSセンサーを前輪に取り付けます。

本機が受信すると、TPMSセンサーの接続(登録)画面の「空気圧センサー1」または「空気圧センサー2」に数値が表示されます。

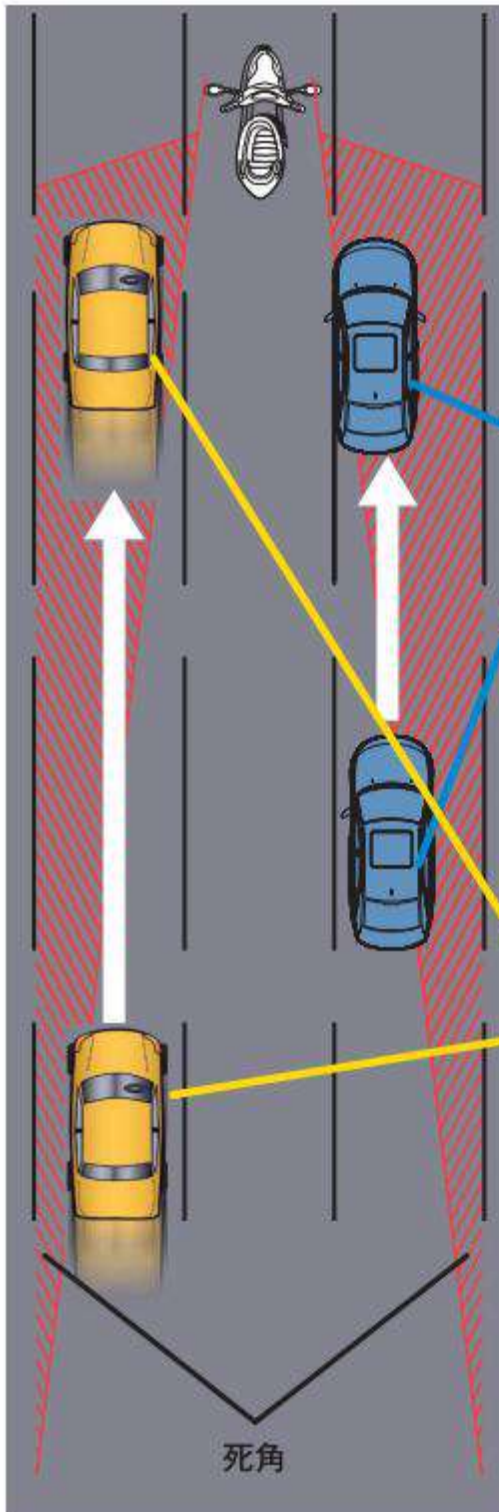
3.「タイヤ追加(ペアリング)」横の「>」ボタンをタップし、「後輪」をタップします。

4.TPMSセンサーを後輪に取り付けます。

本機が受信すると、TPMSセンサーの接続(登録)画面の「空気圧センサー2」/「空気圧センサー3」/「空気圧センサー4」に数値が表示されます。

■安全運転支援機能の概要

自車の後方の左右(設定によって後方)から接近する車両をミリ波レーダーで検知して、本機の画面に注意喚起マークを表示させることでドライバーに注意を促す機能です。



●BSD-死角検知機能 (Blind Spot Detection)

ライダーの視界の死角に斜め後方より車両が入った可能性がある場合に、本機の画面に注意喚起マーク(黄色)を表示させることでライダーに注意を促します。その車両が更に接近する場合は注意喚起マーク(赤色)を表示し、同時にリアカメラ映像表示画面に切替えます。

※設定によって、「警告音」と「画面切り替え」を同時に発します。

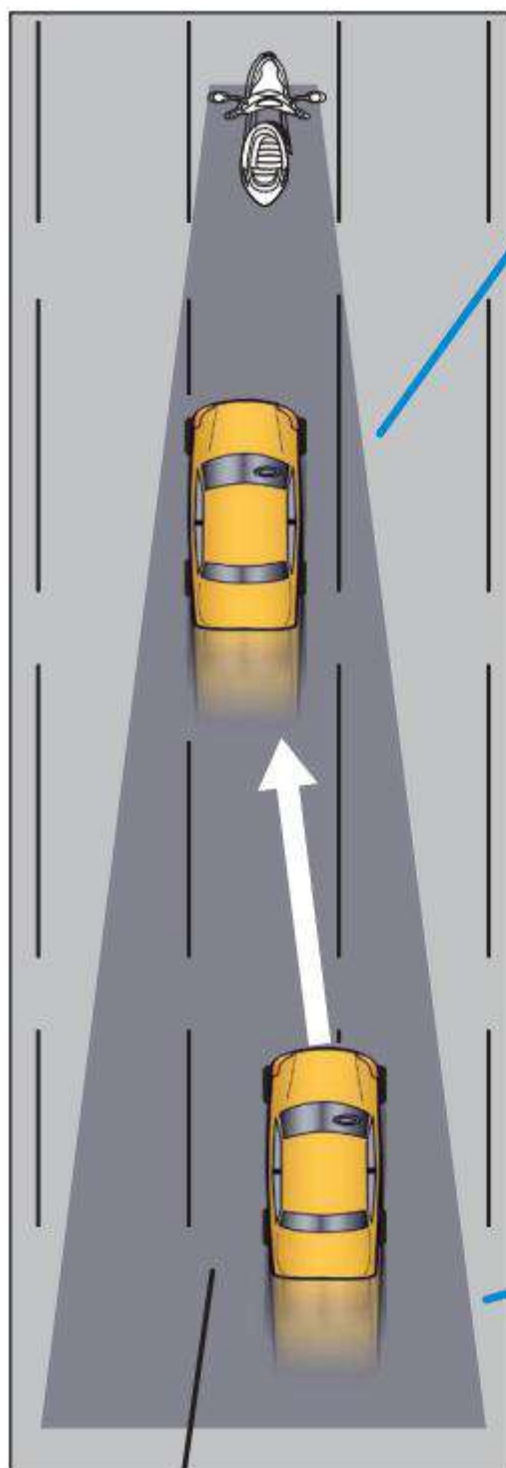
●LCA-車線変更支援機能 (Lane Change Assist)

ライダーが車線変更をするとき、死角になりやすい斜め後方・隣車線後方から急接近する車両を検知し、本機の画面に注意喚起マーク(黄色)を表示させることでライダーに注意を促します。

その車両が更に接近する場合は注意喚起マーク(赤色)の点滅で存在を告知し、ライダーに注意を促します。

※安全運転支援機能の設定内容によって、同時にリアカメラ映像表示画面に切替えます。

※音声出力先を「AUX端子」に設定した場合は、同時に警告音も発します。



後方死角



●後方衝突予告警報

(RCW:Rear Collision Warning)

後方車両への接近警報(RCW)は、ライダーの後方から急接近してくる車両を検知したとき、本機の画面に注意喚起マーク(黄色)を表示することで存在を告知し、ライダーに注意を促します。

後方車両からの追突の可能性が高いと判断したときに、本機の画面に注意喚起マーク(赤色)の点滅で存在を告知し、ライダーに注意を促します。

※安全運転支援機能の設定内容によって、同時にリアカメラ映像表示画面に切替えます。

※音声出力先を「AUX端子」に設定した場合は、同時に警告音も発します。



ご注意

本製品は車両死角検知機能を持っていますが、車両検出において100%の正確性を保証するものではありません。また、運転時は安全運転義務および道路交通法を遵守してください。また、実際の車線変更時には、必ず目視にて周辺状況を確認してください。

コントロールスイッチを使う

コントロールスイッチを使用することで、
本機の画面に触れなくても表示画面の切り替えや
録画を保護するなどの操作が可能になります。



●コントロールスイッチの操作方法について説明します。

 切り替え ボタン	短押し	リアカメラ映像表示(モトミラーモード)画面に切り替えます。 もう一度短押しすると、元の画面に戻ります。 ●音声出力先はAUXと設定され、Carplay/Android Autoの ご利用中に着信が入るとき ⇒着信を応答します。 ●運転支援機能の注意・警告が発したとき(LCA/RCWのみ) ⇒「自動画面切り替え」と「警告音」の機能をオフにします。 もう一度短押しすると、「自動画面切り替え」と「警告音」 の機能をオンにします。
	15秒長押し	本機の電源が切れます。
 カメラ ボタン	短押し	静止画(キャプチャー)を保存します。 ●音声出力先はAUXと設定され、Carplay/Android Autoの ご利用中に着信が入るとき ⇒着信を拒否します。
	3秒長押し	録画中の録画ファイルを保護します。
 ホーム ボタン	短押し	Smart Link画面とホーム画面を切り替えます。
	5秒長押し	「防水ロック」をオンにします。 再度長押しすると、オフにできます。

本体設定

「ホーム画面」で「設定」ボタンをタップすると、本機の設定画面が表示されます。



各種設定のアイコンをタッチすると、設定項目が表示されます。

お好みの設定項目をタッチすると、タッチした設定が確定され設定画面に戻ります。

※設定項目に“>”が表示されている項目は画面をタッチすると選択画面が表示されます。
選択した設定が確定され設定画面に戻ります。

●録画解像度

記録解像度を「1080P」または「720P」に設定します。(初期設定は720P)

「1080P」に設定する場合は、鮮明さは優れますが、録画可能な時間は少なくなります。

「720P」に設定する場合は、鮮明さは劣りますが、録画可能な時間は多くなります。

●ループ録画

ループ録画ファイルの1ファイルあたりの録画時間を設定します。(初期設定は3分)

●音声録音

録画時の音声記録機能のオン/オフを設定します。(初期設定はオン)

●リアカメラ鏡像(録画)

リアカメラの録画ファイルを鏡像(左右反転)で記録する(オン)/しない(オフ)を設定します。

(初期設定はオフ)

●Gセンサー感度

衝撃によるイベント録画の検知感度を設定します。

録画中に事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると、録画ファイルがイベント録画として保存されます。(初期設定は低感度)

※高感度(検知しやすい)⇔低感度(検知しにくい)

※「オフ」を選択した場合は、イベント録画機能は動作しません。

本体設定

●運転支援機能

※画面下部から上にスワイプすると、

⑥～⑧の項目が表示されます。

※画面上部から下にスワイプすると、

①～⑤の項目が表示されます。



①運転支援機能

安全運転支援機能のオン/オフを設定します。(初期設定はオン)

②注意マーク表示

画面左右、下に注意喚起マークを表示する機能のオン/オフを設定します。(初期設定はオン)

③警告音(BSDのみ)

危険を検知するときお知らせする警告音のオン/オフを設定します。(初期設定はオフ)

④自動画面切り替え(BSD)

BSD機能が危険を検知するとき、自動でモトミラー(リアカメラ映像表示)画面に切り替える機能のオン/オフを設定します。(初期設定はオフ)

⑤自動画面切り替え(LCA/RCW)

LCA/RCW機能が危険を検知するとき、自動でモトミラー(リアカメラ映像表示)画面に切り替える機能のオン/オフを設定します。(初期設定はオン)

⑥走行速度

安全運転支援機能を作動させる場合の、自車の走行速度を設定します。替える機能のオン/オフを設定します。(初期設定は0KM/H)

⑦速度単位

自車の走行速度の速度単位を設定します。(初期設定はKM/H)

⑧キャリブレーション

後方の車両を左斜め後方の車両として検知された(例:1)、または左斜め後方の車両を後方の車両として検知された(例:2)場合は、実際の状況に沿ってレーダーユニットの水平角度をキャリブレーションする必要があります。

※例1:「左+X°」で修正する; 例2:「右+X°」で修正する;

本体設定

●日時設定

本機の日時を設定します。

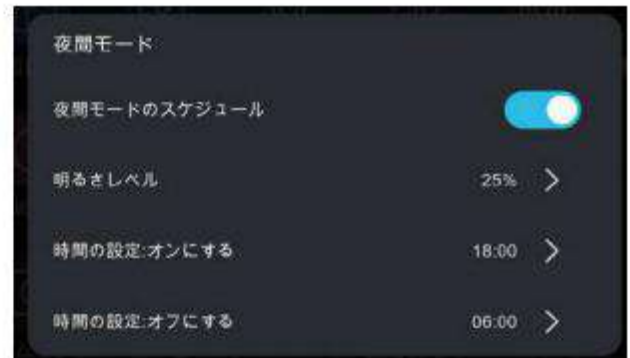
※Smart Link機能を使用すると、スマートフォンの日時設定を本機に取得できます。

●自動画面オフ

一定時間経過すると液晶表示を消す設定です。(初期設定はオフ)

●夜間モード

夜画面と昼画面を設定した時間帯で切り替え、夜と昼の明るさレベルを個別に設定できます。



①夜間モードのスケジュール

夜間モードのオン/オフを設定します。(初期設定はオン)

②明るさレベル(夜)

夜間時間帯の明るさレベルを設定します。(初期設定は25%)

③時間の設定:オンにする

夜間時間帯の開始時刻を設定します。(初期設定は18:00)

④時間の設定:オフにする

夜間時間帯の終了時刻を設定します。(初期設定は06:00)

●言語

本機のメニューや警告メッセージなどの表示言語を選択できます。(初期設定は日本語)

●SDカード

microSDカードの容量情報を表示します。

●接続解除

スマートフォンとのペアリング情報を全て削除します。

本体設定

●ホームボタン

仮想ホームボタン表示機能のオン/オフを設定します。(初期設定はオフ)

※Carplay、Android Autoを使用するときに仮想ホームボタンが表示されます。

●操作音

画面タッチ時に操作音を鳴らすか選択できます。(初期設定はオフ)

※操作音はAUXより出力されます。

●フォーマット

microSDカードの初期化を行います。microSDカードを初期化すると、記録したデータは全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

●設定初期化

設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときには選択後「OK」を選択してください。

●本体情報

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない、動作しない、動作が不安定	<p>●ヒューズが切れていませんか？ ⇒ヒューズ切れの原因を取り除き、ヒューズを交換してください。</p> <p>●本体が高温(50℃以上)になっていませんか？ ⇒microSD カードへの書き込みエラー発生時や外部環境要因などにより、本体が高温(50℃以上)になると、動作を停止する場合があります。本体の温度が下がってから使用してください。</p> <p>●システムエラーの可能性がります。 ⇒リセットボタンを押して本体を再起動してください。</p>
録画ボタンを押しても、録画ランプが点滅しない	microSDカード未挿入、または読み込みができていない可能性があります。microSDカードを確認し、フォーマットしてください。
記録が出来ない ファイルの読み込みが遅い	microSDカードが破損している可能性があります。 ⇒新しいmicroSDカードに差し替えてください。
起動後、暫くが経ってから自動録画開始する	前回利用時に最後に記録ファイルが破損した可能性があります。その場合には、本機はファイルを修復してから録画開始します。
日時表示が違う	電源コードがしっかり接続されていますか？ ⇒配線の取り回しをご確認ください。
動画再生で映像が飛んだりカクカクする	microSDカードのスピードクラスが足りていない可能性があります。 ⇒録画解像度設定を下げるかmicroSDカードを交換してください。
イベント録画がされない	Gセンサー感度設定がOFF、または低く設定されていませんか？ ⇒感度の設定を段階的に高く設定し、確認してください。
イベント録画が頻繁にされる	<p>●イベント録画モードの感度を段階的に低く設定し、確認してください。</p> <p>●本体が車両にしっかり固定されていますか？ ⇒本体が動かないように固定してください。</p>
microSDカードがフォーマットできなくなった	<p>microSDカードの寿命といえますので、新品に交換が必要です。</p> <p>※microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。</p> <p>※microSDカードのNANDフラッシュメモリの素子が書き込み回数の上限に達すると、カード側にデータロック機能がないmicroSDHCおよびmicroSDXCであっても「書き込み禁止」の状態となり、フォーマットができなくなります。</p>

製品仕様

本体サイズ	(W)154mm×(D)26mm×(H)82mm (突起物除く)
本体重量	約390g
画面サイズ	6.1インチフルカラーIPS液晶
撮影素子	200万画素カラーCMOS
レンズ画角	対角120°
動画画質	1080P(1920×1080) @27.5fps 720P(1280×720) @27.5fps ※フロント/リアカメラ共通設定
Gセンサー	OFF/低/中/高
記録方式	常時録画/イベント記録/手動録画
録画ファイル構成	1分/3分/5分
フレームレート	27.5コマ/秒
静止画撮影	対応
音声録音	ON/OFF
映像ファイル形式	動画:「.TS」/静止画:「.jpg」
スマートフォン端末再生方法	スマートフォン専用アプリ「Moto-DVR」
推奨PC再生ソフト	Windows Media Player / VLC Media Player
防塵・防水等級	IP67
Bluetooth	Ver.4.0
Wi-Fi	2.4Ghz/5.6Ghz(DFS)
システム要件	Carplay:iPhone8/iOS13以降 Android auto:Android11以降
動作電圧	DC12V
動作温度範囲	-10°C～60°C
記録媒体	32GB～256GB (U3以上、 初回ご利用時に本機でフォーマット必要)
製品保証期間	1年(消耗部品は除く)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

検索に製品番号の「M2」を入力してください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。	
〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	無効
〈ご住所〉	
〈販売店〉	
	〈購入日〉

MAXWIN